静岡県富士山世界遺産センター
年報　2020.4－2021.3

目　次

館長挨拶 …… 1

1 概　要

1-1 沿革 …… 2
1-2 写真で見る2020.4-2021.3 …… 4

2 活動状況

2-1 永く守る
2-1-1 静岡県認定富士山世界遺産ガイド養成 …… 6
2-1-2 サポートボランティア制度 …… 7
2-1-3 富士山保全協力金 …… 8
2-1-4 富士山安全対策 …… 8
2-2 楽しく伝える
2-2-1 企画展 …… 9
2-2-2 アトリウム展示活動 …… 15
2-2-3 教育旅行受入 …… 16
2-2-4 出前講座 …… 18
2-2-5 館内講座 …… 22
2-2-6 世界遺産セミナー …… 24
2-2-7 世界遺産ニュースレター …… 25
2-2-8 ホームページ及びFacebookによる情報発信 …… 26
2-2-9 メール会員 …… 27
2-3 広く交わる
2-3-1 地域貢献・広域連携（富士山ネットワーク） …… 28
2-3-2 視察受入 …… 29
2-4 深く究める
2-4-1 巡礼路調査 …… 30
2-4-2 研究活動 …… 32
2-4-3 資料収集 …… 40

3 施設・組織・予算

3-1 施設 …… 42
3-2 組織 …… 45
3-3 予算 …… 46

4 資　料

4-1 入館者数データ …… 47
4-2 2020年度の休館日 …… 47
4-3 新型コロナウイルス感染症対策 …… 48
4-4 公式オリジナルグッズ …… 48
4-5 報道実績 …… 49
4-6 来館者アンケート …… 51
4-7 設置管理条例・規則 …… 56

館長挨拶

ご 挨 拶

静岡県富士山世界遺産センターが開館し、早や４年が経過しました。

2020年度を振り返りますと、非常に厳しい１年であったということができます。新型コロナウイルス感染症の拡大により、４月14日から48日間の臨時休館を余儀なくされました。その後、入館者の検温の実施や密の発生を防ぐための入館者数の制限など、様々な感染予防対策を徹底し、６月１日から開館いたしましたが、直後に移動の自粛が呼びかけられ、これまでのように国内外の多くの方々に来館をいただくことは難しい世相となりました。

また、昨年夏は富士山そのものも開山を見送り、夏山登山が行われない年となりました。

このような大変な１年ではありましたが、2021年２月28日には、開館からの通算で100万人目のお客様を迎えることができ、３年２ヵ月で達成したことを考えると、国民の皆様の富士山への関心の高さを感じた１年でもありました。

世界中が新型コロナウイルスの蔓延による未曾有の脅威に直面し、先行きが見通せず人々の不安と社会経済への負の影響があらわれた中でも、富士山は常に美しくあり続け人々を魅了しており、改めて富士山の普遍的な価値の持つ崇高さや意義深さを再認識しております。

今後、どのような展開となるかは不透明ながら、センターとしては、ウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据え、多くの皆様が安心して快適に過ごせるように万全の運営を心掛けるとともに、常に進化する博物館として富士山の普遍的価値の継承に邁進して参る所存です。

ここに、センターの2020年度の足跡を年報という形で取りまとめ、富士山という偉大な存在の持つ価値を、次の時代に繋いでいくための記録の一環と致しました。御活用いただければ幸いに存じます。

2021年12月

静岡県富士山世界遺産センター
館長　　遠山　敦子

1 概　要

1-1 沿　革

2011年10月	基本構想策定委員会を設置
2012年３月	基本構想を策定
2012年11月	基本計画策定アドバイザーを設置
2013年３月	基本計画を策定
2013年６月	世界文化遺産登録決定
2013年８月	建設地を富士宮市宮町に決定
2014年３月	設計者を株式会社坂茂設計事務所へ決定
	展示基本計画を策定
2015年３月	実施設計完了
2016年３月	建築工事着手
2017年２月	2017年12月23日開館を公表
2017年７月	建築工事完成
2017年10月	設置管理条例議決
	展示工事完成
2017年12月	12月22日開館記念式典開催
	12月23日開館
2018年２月	入館者10万人達成
2018年３月	シアター新番組「地の巻」上映開始
2018年７月	入館者30万人達成
2018年12月	入館者50万人達成
2019年１月	３階「育む山」展示リニューアル
2019年３月	シアター新番組「宙の巻」上映開始
2019年８月	富士山世界遺産センターふじっぴー誕生
2019年11月	三笠宮彬子女王殿下　地方事情御視察のため御来館
2020年３月	富士山世界遺産センター公式ハンドブック発行
2020年４月	新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館
	（４月14日から５月31日まで）
2021年２月	２月20日観覧料支払いへのキャッシュレス決済導入
	２月28日来館者100万人達成

基本コンセプト及び機能

静岡県富士山世界遺産センターは、世界遺産条約第５条（e）の趣旨に則り、富士山が持つ顕著な普遍的価値を次世代に継承し、「永く守る」拠点施設として整備された。

富士山を「永く守る」ためには、資産を適切に保護・管理するとともに、多くの人々が世界文化遺産としての富士山の価値について理解を深めることが必要となる。

そのため、富士山を「永く守る」活動に加え、富士山の価値を「楽しく伝える」活動やセンターの活動を通じて人々が「広く交わる」機会を創出する活動を展開する。さらに、これら「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」の活動内容を奥深いものとするため、富士山の自然や歴史、文化等を「深く究める」活動を展開する。

また、他の研究機関等と連携した「深く究める」活動の成果及びセンターの諸活動を「連ねる」ことで、「富士山学」を体系化し、世界文化遺産「富士山」の価値を探究する活動を継続して実施する。

＜基本コンセプト及び機能概念図＞

永く守る

1 富士山の価値の次世代への継承～保護・管理～
- 富士山の包括的保存管理の拠点
- 市民活動との連携
- 富士山の保護・管理に携わる人材の育成

楽しく伝える

2 富士山の多彩な価値の伝達～展示・情報発信～
- 楽しく「伝える」展示
- 富士山情報の発信

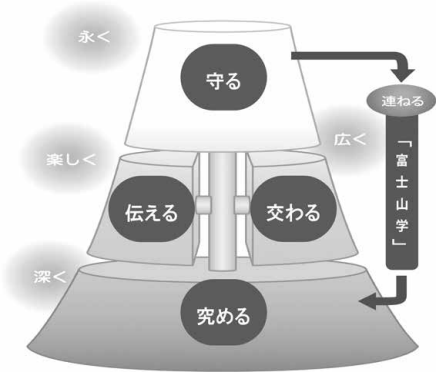
3 富士山の「楽習」機会の提供～学習支援～
- 学校教育との連携
- 生涯学習の支援・促進
- 富士山ライブラリーの整備

広く交わる

4 富士山を通じた交流機会の創出～交流促進～
- 観光交流
- 学術交流
- 文化・芸術交流

深く究める

5 富士山の価値の探求～調査研究～
- 富士山の総合的、学際的、国際的な研究活動の展開
- レファレンスサービスの提供



1-2 写真で見る2020.4-2021.3

来館者100万人達成（2021年２月28日）

令和２(2020)年度　夏季収蔵品展
表富士―東海道、眺めのいい街道(みち)―

会期：2020年６月27日～７月26日

静岡県富士山世界遺産センター・(国研)産業技術総合研究所 地質調査総合センター・静岡県環境衛生科学研究所　共同企画展
富士山の湧水－その道のりと歴史－

会期：2020年８月８日～10月４日

秋季特別展

シリーズ江戸文化のなかの富士山Ⅲ
ハイブリッド狩野派―狩野素川彰信とその時代―

会期：2020年10月24日～12月６日

企画展

富士山の曼荼羅Ⅲ～富士山表口の信仰空間～

会期：2021年１月１日～１月31日

企画展

第１回　絶景・秀景 富士山世界遺産写真コンテスト入賞作品展

会期：2021年３月６日～３月28日

2　活動状況

2-1 永く守る

2-1-1 静岡県認定富士山世界遺産ガイド養成

1 概　要

静岡県認定富士山世界遺産ガイドは、世界遺産「富士山」の顕著な普遍的価値及びその適切な保存管理について理解を深め、案内することができることを目的とし、2012年度に発足し、2015年度までの４年間にわたって養成講座を７回実施して、247名が修了した。その後、登録更新希望者を対象に２年毎の更新講座を実施し、その際の意向確認でこれまでに85名が登録を辞退・抹消（逝去等）となり、2020年度末の登録者は162名である。

2 活動内容

・各構成資産における来訪者へのガイド
・教育機関、旅行業者等の依頼に基づいた添乗ガイド
・富士山をテーマとする各種講座等における講師
・富士山の価値や適切な保存管理の普及のための活動

（更新講座の様子）

3 更新講座

世界遺産ガイドの知識やモチベーションの維持・向上を目的として更新講座を実施している。例年、年度初めに実施計画日の中から対象者に希望調査を行い、年３回～４回の更新講座を実施していたが、2020年度当初は、新型コロナウイルス感染症拡大による全国的な緊急事態宣言等もあり、感染症の状況が落ち着いた10月に希望調査を実施。

2020年度の更新講座（2012・2014年度修了生対象）は、次表の日程で実施し、「富士山の保全管理に係る講義」、「世界遺産に係る講義」、「世界遺産センターで開催中の企画展視察」「富士山の火山に関するフィールドワーク」を行った。また、感染防止の観点から、１回当りの講座受講者の人数制限や次年度での講座受講を認めるなどの措置を行った。

	第１回	第２回	第３回	次年度希望
2020年度	2020年11月24日㈫ 参加者：23名	2021年１月27日㈬ 参加者：24名	2021年３月6日㈯ 参加者：11名	2021年度実施の講座にて受講希望者：22名
	⑴富士山の保存管理の状況（県富士山世界遺産課保存管理班武田班長） ⑵最新の世界遺産に関する講義（富士山世界遺産センター山川研究員） ⑶専門講座 ・11月24日　ハイブリット狩野派フロアガイド講座 （富士山世界遺産センター松島教授） ・１月27日　富士山の曼荼羅Ⅲフロアガイド講座 （富士山世界遺産センター大高教授） ・３月６日　富士山の地層フィールドワーク （富士山世界遺産センター小林教授）			

2-1-2 サポートボランティア制度

1　概　要

地域の人々が、静岡県富士山世界遺産センターの日々の活動を支え、来館者とセンター、地域とセンターを結ぶ架け橋として活動する組織として、サポートボランティア制度を設けた。

説明会、研修会を受講した140名がサポートボランティアとして正式に登録し、2017年12月23日の開館日から活動を始めた。高校生・大学生から80代までの幅広い年齢層で構成され、富士山とセンターを誇りに持ったメンバーが笑顔で来館者を迎えている。2020年度は、125名の登録でスタートしたが、新型コロナウイルス感染拡大予防とボランティアの安全確保のため、イベントを除く常時の活動は休止したままの１年であった。新規活動として、新年度の本格実施に向け、館内案内ボランティア説明会・研修会を10月４日以降実施した。

（2021年２月 ファミリーイベントの様子）

2　活動内容

日　　付	センター	サポートボランティアの動き	学校向け館内案内ボランティア
２月27日から		新型コロナウイルス感染拡大により活動休止	
４月14日から	臨時休館		
５月３日から５日	GWイベント中止 （缶バッジ＆クイズシート）		

日　　付	センター	サポートボランティアの動き	学校向け館内案内ボランティア
6月1日から	センター再開	イベント開催時のみ活動再開	
8月10日、 13～16日	夏休み ファミリーイベント (缶バッジ＆クイズシート)	希望者のみイベント補助	
10月4日、6日、7日			説明会
11月4日(1回)、5日(2回)、13日(2回)、18日(2回)、 12月2日(1回)、10日(1回)、21日(1回)			実地研修 11月中に7回 12月中に3回
1月1～3日	お正月イベント中止 (缶バッジ＆クイズシート)		
1月11日〆切			意向調査
2月17日〆切		令和3年度継続希望調査	
2月23日	富士山の日イベント (缶バッジ＆クイズシート)	イベント補助	

2-1-3 富士山保全協力金

1 概　要

静岡県は、2014年度から富士山保全協力金を受け付けており、いただいた協力金は、富士山の環境保全や登山者の安全対策を進める事業に活用している。2020年度は、富士山閉山のため、協力金の受付は実施しなかった。

2-1-4 富士山安全対策

1　概要

静岡県は、例年、山梨県と連携し、富士登山における安全確保のため、富士山須走・吉田ルートの山頂から八合目までの登下山道の安全誘導、下山道の巡回や案内看板設置等の安全対策、八合目分岐点の道間違い対策を実施しているが、2020年度は富士山閉山に伴い業務を実施しなかった。

2-2 楽しく伝える

2-2-1 企画展

○夏季収蔵品展
表富士―東海道、眺めのいい街道―

会　　期　2020年６月27日～2020年７月26日
観 覧 料　無料（常設展観覧料のみで観覧可）
入場者数　6,112人（期間中の常設展チケット発券枚数）
概　　要

聖なる火山―富士。放恣なまでに荒ぶる忿怒の貌をもつ一方で、季を忘れたかのように白妙の衣をまとい優雅に稜線を流す麗しい姿は、古くより絵筆にとどめられてきた。江戸時代に入り、将軍家御用絵師の狩野探幽（1602～1674）が富士山絵画の定型を編み出すと、富士山は山水画一般から自立し、源氏物語絵や洛中洛外図と同様の独立した絵画ジャンルとしての地位を獲得する。江戸時代中～後期になると、富士山は独自の文化体系を備えた新しい“首都”江戸の標徴とみなされるようになり、諸派が角逐した画壇の活況とともに、絵画作品を頻繁に飾るようになる。

そのような中、江戸を起点に諸街道が整備され、東西の往来がより頻繁になったこの時代には、実際に目にした風景をときに形而にしたがい、ときに心象に応じて再現した〈真景図〉が描かれるようになり、富士山もその主要なモティーフとして選ばれる。それらのいくつかは浮世絵版画にも取り入れられ流布、“商品化”し、富士山絵画の新しい定型を形成するとともに、人々の景観認識を規定していく。

センターの収蔵品・寄託品からなる本展覧会では、富士山を描いた真景図や浮世絵版画のうち、駿河国の東海道から望んだ作品を中心に展覧し、真景図に採用された構図が定型化し、江戸時代のツーリズムの昂まりのなか“表富士”として親しまれていった過程を通覧する。

出展作品

狩野常信（1636～1713）筆　秋景富士三保清見寺図　センター蔵
横山華山（1784～1837）筆　富士三保清見寺図　個人蔵（センター寄託）
森徹山（1775～1841）筆　原駅望富嶽図　個人蔵（センター寄託）
原在中（1750～1837）筆　過吉原駅望芙蓉景図　個人蔵（センター寄託）
淵上旭江（1753～1816）筆　薩埵嶺縮写図　個人蔵（センター寄託）
谷文晁（1763～1840）筆　富嶽遠望図　個人蔵（センター寄託）
葛飾北斎（1760～1849）画　東海道名所一覧　センター蔵
二代歌川広重（1826～1869）画　御上洛東海道・蒲原　センター蔵
二代歌川広重画　御上洛東海道・由比　センター蔵
歌川芳盛（1830～1885）画　御上洛東海道・府中（静岡）　センター蔵
月岡芳年（1839～1892）ほか画　末広五十三次　センター蔵

○静岡県富士山世界遺産センター・（国研）産業技術総合研究所 地質調査総合センター・静岡県環境衛生科学研究所　共同企画展 富士山の湧水―その道のりと歴史―

会　　期　2020年８月８日～2020年10月４日
観 覧 料　無料（常設展観覧料のみで観覧可）
入場者数　18,049人（期間中の常設展チケット発券枚数）
概　　要

富士山麓には湧水が至る所に湧き出しており、その存在は地域の歴史的・文化的な景観形成に大きな影響を与えるとともに、豊富な湧水は、様々な産業を創出し、地域の発展に寄与してきた。一方、富士山の湧水そのものに着目した水文学的研究も古くから行われ、その起源と年代に係る様々な知見は、富士山の湧水の神秘性を際立たせてきた。

本企画展では、富士山を含む広域的な地下水・湧水情報のデータベース構築のために実施された大規模調査の結果を中心に紹介し、富士山の湧水に関する知識の変遷をたどりながら、湧水の起源や特徴、地表に湧き出るプロセスについて最新の研究成果を解説する。また、富士山麓の湧水がもたらす恵まれた自然環境のほか、現在注目されている地中熱資源としての富士山の湧水の活用技術についても紹介する。

なお、本企画展では展示室を４つのテーマ（富士山の湧水と地形地質、富士山の火山研究、富士山の地下水・湧水研究、富士山の湧水がもたらす自然環境とその活用技術）に区切り、各テーマからみた巨大な湧水の水がめとしての富士山の特徴について、科学的データを示した解説パネルに加えて、地形模型、地質試料、映像資料等を様々な展示物を駆使して紹介した。

主な展示物
・高精度地形模型・プロジェクションマッピング：富士山の地形地質と湧水
・富士宮地域のボーリングコア試料（産総研究所地質調査総合センター）
・地下水調査に利用された機器類（産総研地質調査総合センター）
・プロジェクションマッピング：富士山の地下水（産総研地質調査総合センター）
・白糸の滝・音止の滝ドローン空撮映像
・駿河湾海底湧水映像（産総研究所地質調査総合センター、静岡県環境科学衛生研究所）

イベント
・サイエンスレクチャー（第１回）：【特集】富士山研究の最前線
2020年８月21日
演題：富士山の噴火史と宝永噴火の実態
講師：馬場　章（山梨県富士山科学研究所　研究員）
演題：富士山麓の湧水の科学

講師：小野昌彦（産業技術総合研究所地質調査総合センター　研究員）
演題：“新しい山”富士山の自然と昆虫
講師：岸本年郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム　教授）
・サイエンスレクチャー（第２回）：火山の湧水の潤う地域
2020年９月13日
演題：噴火が創出する火山の恵み
講師：小林　淳（静岡県富士山世界遺産センター　教授）
演題：立山の火山と常願寺川の恵みと災禍
講師：丹保俊哉（富山県立山カルデラ砂防博物館　学芸員）
・サイエンスレクチャー（第３回）：富士山湧水が育む駿河湾と湧水の利活用
2020年９月27日
演題：富士山の湧水の活用と駿河湾海底湧水
講師：村中康秀（静岡県環境衛生科学研究所　部長）
演題：駿河湾が育む多様な魚類
講師：渋川浩一（ふじのくに地球環境史ミュージアム　教授）

・図書館講座
2020年8月26日
演題：富士山の湧水の気になることを“科学的な目”で見る
講師：小林　淳（静岡県富士山世界遺産センター　教授）
・フロアガイド
2020年８月８日・22日、９月６日・26日、10月３日・４日
解説：小林　淳（静岡県富士山世界遺産センター　教授）

○秋季特別展
シリーズ江戸文化のなかの富士山Ⅲ
ハイブリッド狩野派―狩野素川彰信とその時代―

会　　期　2020年10月24日～2020年12月６日
観 覧 料　一般700円／70歳以下：200円／大学生以下：無料
入場者数　7,438人（期間中の企画展チケット発券枚数）
概　　要

徳川将軍が統治した約260年、富士山は将軍の都江戸の文化的優位性を表象するアイコンと位置づけられた。とりわけ1790～1840年代、寛政から文化、文政、天保年間にかけては、将軍家御用絵師の狩野伊川院栄信・晴川院養信父子のほか、谷文晁（1763～1840）や酒井抱一（1761～1829）、葛飾北斎（1760～1849）らの巨星がしのぎを削った江戸画壇の黄金期であったが、彼らが競ってとり上げた画題が富士山だった。

諸派が角逐したこの時代、ひときわ異彩を放った画家が、狩野素川彰信（章信）（1765～1826）であり、表絵師のひとつ猿屋町代地狩野家の当主であった素川は、「其絵称する人多ク、伊川院ト相敵ス」

（『古画備考』）とも評された実力者で、花街に遊蕩し吉原の老妓を多く門弟にもつなどの粋人でもあった。瀟洒淡泊でときにユーモアにあふれる飄逸なその作風は、「素川風」と呼ばれ、「画を乞ふもの門前市を為す」ほどの人気を集めた。その一方で素川は、浮世絵風美人画を手掛けたり、“江戸琳派”を彷彿させるような作品を残した。素川は酒井抱一や谷文晁、亀田鵬斎らとともに文化12年（1815）の千住酒合戦にも関与し、その模様を記録した「高陽闘飲図巻」を寄合書するなど、社会的立場や所属流派を越境しつつ同時代の文化界と交わった。素川はまた、川越や桐生などと地縁をもち活動の場を得るなど、江戸周辺域の文化動向とも密接な関わりを持った。

シリーズ「江戸文化のなかの富士山」の３回目となる本展覧会では、御用絵師として探幽以来の伝統を発展的に継承しながらも、他派からも積極的に養分を吸収した“ハイブリッド狩野派”素川彰信の多彩な画業を回顧し、そのうえで素川の富士山図にクローズアップし、ライヴァルと目された狩野伊川院栄信をはじめとする同時代の画家たちの作品と比較することで、その絵画的特質を浮き彫りにした。

主な出品作品

・狩野素川彰信筆　釈迦涅槃図　一幅　個人蔵
・狩野素川彰信筆　観音図　一幅　佐野市立吉澤記念美術館蔵
・狩野素川彰信筆・自賛　兼好法師図　一幅　個人蔵（川越市立美術館寄託）
・狩野素川彰信筆　美人図　一幅　板橋区立美術館蔵
・狩野素川彰信筆　内裏雛図　一幅　板橋区立美術館蔵
・狩野素川彰信筆・大田南畝賛　初鰹図　割烹家八百善蔵
・酒井抱一・谷文晁・狩野素川彰信・太田南畝ほか筆　高陽闘飲図巻（写）　一巻　東京・個人蔵
・狩野素川彰信筆　江都四時勝景図　乾巻　東京都江戸東京博物館蔵
・狩野素川彰信筆　富士越龍・菖蒲夏雨・撫子秋風図　三幅対　個人蔵
・狩野伊川院栄信筆　富士三保松原図　一幅　東京・個人蔵
・狩野伊川院栄信筆　富士三保清見寺図　一幅　センター蔵
・狩野伊川院栄信・友川寛信・探信守道筆　富士越龍・須磨・明石図　三幅対　成田山新勝寺蔵

○企画展

富士山の曼荼羅Ⅲ～富士山表口の信仰空間～

会　　期　2021年１月１日～2021年１月31日
観 覧 料　無料（常設展観覧料のみで観覧可）
入場者数　4,717人（期間中の常設展チケット発券枚数）
概　　要

参詣曼荼羅とは、主として16～17世紀にかけて、霊場（寺院・神社）への参詣を目的として制作された宗教的な案内絵図のことである。静岡県の富士山信仰は、主要街道である東海道が東西を横断していることが大きく影響しており、東海道を利用し、特に東海地方から近畿地方を中心とする西国方面から、道者と呼ばれた富士山への参詣者が数多く訪れていた。東海道を利用した道者は、基本的には富士山表口（大宮・村山口登山道）から富士山へと参詣をしていた。

こうした点を背景に、富士参詣曼荼羅のジャンルに含まれる各作品が誕生していった訳であるが、この展示会では、2019年度に住友財団文化財修復助成事業により、江戸時代後期以来の修復を終えた富士参詣曼荼羅（天満山松栄寺本）の現物紹介を行った。また文化財修復の経過についても、写真パネルで紹介し、あわせて修理前に作成した同図の高解像度レプリカ作品も並べて展示した。

【展示作品】

・富士参詣曼荼羅（天満山松栄寺所蔵、富士山かぐや姫ミュージアム寄託）
・富士参詣曼荼羅（天満山松栄寺所蔵原寸複製、当館所蔵）
・感夢浅間大菩薩像（天満山松栄寺所蔵、富士山かぐや姫ミュージアム寄託）
・浅間大神御影（当館所蔵、佐野宮峰氏コレクション）
・三国第一冨士山禅定図（当館所蔵、佐野宮峰氏コレクション）
・富士山表口真面之図（当館所蔵、佐野宮峰氏コレクション）
・富士山絵伝Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（中村芳楽氏所蔵）

【関連イベント】

・2021年１月17日　阿部美香氏（昭和女子大学非常勤講師）「富士山絵伝の絵解き解説」：新型コロナ・ウィルスに係る緊急事態宣言の影響で、館内にて阿部先生による解説音声付のスライドを使用した講座に内容を変更して実施した。

○企画展

第１回　絶景・秀景　富士山世界遺産写真コンテスト入賞作品展

会　　期　2021年３月６日～2021年３月28日
観 覧 料　無料（常設展観覧料のみで観覧可）
入場者数　5,172人（期間中の常設展チケット発券枚数）
概　　要

静岡県では「富士山の日」の推進運動の一環として、これまで「秀景ふるさと富士写真コンテスト」及び写真展を第10回開催した。

2020年度から、公益社団法人静岡県観光協会、ＮＨＫ静岡放送局と共催し、これまでの全国各地の「ふるさと富士（見立て富士）」を撮影した「秀景ふるさと富士」部門に加え、静岡県側から「富士山」を撮影した「絶景しずおか富士山」部門の２部門からなる「第１回　絶景・秀景　富士山世界遺産写真コンテスト」を実施した。

本企画展では、公募総数1016作品の中から審査委員長沼田早苗氏、織作峰子氏、西田省三氏厳選した100点の入選作品を展示した。

出展作品

（「絶景しずおか富士山」部門）

グランプリ　飛翔　久保田勝夫（撮影場所：沼津市西浦）

静岡県観光協会長賞　早春　石原幸男　（撮影場所：富士市岩本山）

ＮＨＫ静岡放送局長賞　夕暮れに染まる　山本裕（撮影場所：富士宮市明星山）

他57作品

（「秀景ふるさと富士」部門）

グランプリ　晩秋の朝　木龍寛（羊蹄山「（蝦夷富士）北海道」）

静岡県富士山世界遺産センター館長賞　桃源郷　平井正光（「讃岐富士（飯野山）香川県」）

他38作品

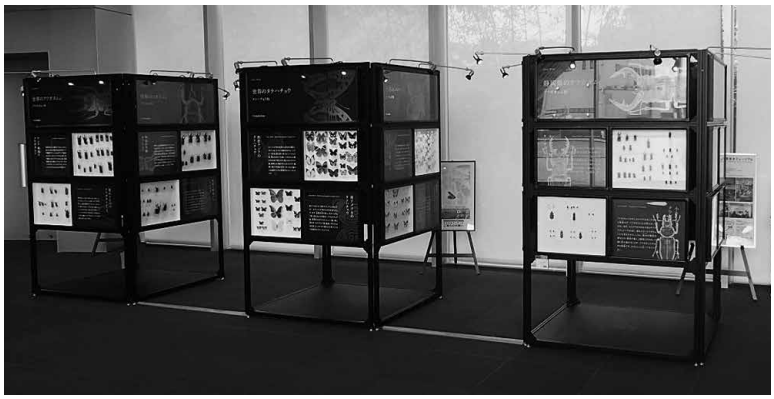
2-2-2 アトリウム展示活動

静岡県富士山世界遺産センター１階アトリウムでは、様々な機関と連携し、作品展示を行った。

（1）ふじのくに地球環境史ミュージアムとの連携

（2020年８月12日～2020年８月30日）

ふじのくに地球環境史ミュージアムによる巡回展示「ミュージアムキャラバン」の一環として、世界や静岡県や世界の昆虫標本を集めた「昆虫の世界」を展示した。



ミュージアムキャラバン「昆虫の世界」

（2）山梨県との連携

（2020年12月１日～2020年12月13日）

富士山憲章事業の一環として、山梨県が開催した、富士山に宛てた年賀状のコンクール「富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～」の優秀作品を展示した。

「富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～」優秀作品

（3）認定NPO法人富士山世界遺産国民会議との連携

（2021年２月19日～2021年３月４日）

認定NPO法人富士山世界遺産国民会議が主催する、全国の小中高生を対象とした富士山をテーマにした書き初めコンテスト「富士山書き初め2021」の入賞作品を展示した。

「富士山書き初め2021」入賞作品

2-2-3 教育旅行受入

1 教育旅行の受入

静岡県富士山世界遺産センターの基本コンセプトのひとつ「楽しく伝える」に、富士山の「楽習」機会の提供～学習支援～が位置付けられており、その一環として、センターへの学校等団体による教育旅行の誘致促進に取り組んでいる。

来館時の説明（2020年12月）

5階展望ホールと修学旅行生徒（2021年2月）

2 受入実績概要

2020年度は下表のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響から、県外への旅程を県内に変更した学校が多く出た。特に下半期には県内西部地域の学校からの来館がこれまでになく増加した。延べ157校の学校等団体の来館があった。

教育旅行来館数（2020年4月1日～2021年3月31日）　（単位：校）

	静岡県内			県外		計
	東部	中部	西部	関東 ※1	東海 ※2	
保育園 幼稚園	3	0	0	0	0	3
小学校	21	18	45	11	0	95
中学校	8	6	10	4	9	37
高等学校	9	5	4	0	0	18
大学	0	0	0	1	0	1
専門学校 各種学校	2	1	0	0	0	3
小計	43	30	59	16	9	
	132					
合計	157					

※1…山梨県（13）、神奈川県（2）、茨城県（1）
※2…愛知県（9）

2020年度の来館者74,399人（うち、観覧券発券数70,855枚）のうち、小人の入場券発券数12,601枚（全発券数の17.8%）、学生の入場発券数4,090枚（全発券数の5.8%）であり、その内、教育旅行での受付人数は小人（幼稚園・保育園・小学校・中学校）7,888人（小人発券数の62.6%）、学生（高等学校・大学・大学院・専門学校等）1,125人（学生発券数の27.5%）であった。

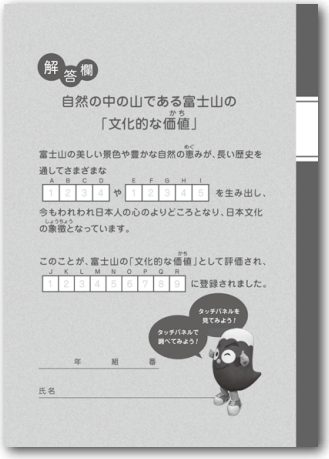
※チケット区分　小人：15歳未満の児童・生徒
　　学生：15歳以上の生徒・学生

教育旅行来館時に提供するクイズシート（小学校向け：A４両面印刷）

ワークシート（中学～高等学校向け：B4二折見開き）

（表表紙）

（見開き）



（裏表紙）

2-2-4 出前講座

1 富士山世界文化遺産出前講座の概要

富士山世界文化遺産出前講座は、富士山の自然や文化、世界遺産についての基礎知識をわかりやすく説明し、富士山についての理解と関心を高め、世界遺産「富士山」の後世継承への気運を高めることを目的とし、小・中・高校の「総合的な学習の時間」や「特別活動」の野外活動の事前学習のほか、公民館等各種団体からの依頼を受けて講師を派遣し、講座を実施している。

2 地区・対象別実施数・人数（2020年４月１日～2021年３月31日）

〈一般〉

	地　区				合計
	東部	中部	西部	県外	
件数（件）	12	7	0	0	19
人数（人）	526	176	0	0	702

〈学校〉

	地区別件数（件）					人数（人）
	東部	中部	西部	県外	合計	
小学校	4	6	0	0	10	693
中学校	6	0	0	1	7	730
高　校	1	0	2	0	3	80
短　大	0	1	0	0	1	30
大　学	0	0	1	0	1	200
合　計	11	7	3	1	22	1,733

3 分野・タイトル別実施数

〈富士山入門〉（担当：山﨑主幹・白鳥主査）	件数（件）			人数（人）
	学校	一般	合計	
世界遺産の富士山を学ぼう	9	3	12	1,019人
ふじさんってどんな山？	0	1	1	
合　計	9	4	13	

〈各論　文化：美術〉（担当：松島教授）	件数（件）			人数（人）
	学校	一般	合計	
ふじさんを描いてみよう！	1	0	1	120人
日本の美と心－富士山	0	1	1	
富士山と徳川将軍	0	1	1	
合　計	1	2	3	

〈各論　自然科学：火山・地質・防災〉（担当：小林教授）	件数（件）			人数（人）
	学校	一般	合計	
静岡県の活火山(富士山、箱根山、伊豆東部火山群)を比較してみよう	4	2	6	390人
富士山の噴火史と火山防災（ハザードマップの読み方）	1	0	1	
合　計	5	2	7	

〈各論　史学：歴史〉（担当：大高教授）	件数（件）			人数（人）
	学校	一般	合計	
富士山の歴史を学ぶ	2	3	5	423人
江戸時代の富士登山	0	1	1	
富士山の参詣曼荼羅の絵解き	0	1	1	
合　計	2	5	7	

〈各論　文化：文学〉（担当：田代准教授）	件数（件）			人数（人）
	学校	一般	合計	
文学と富士山	0	1	1	55人
富士山の伝説	0	1	1	
文学と富士山	0	1	1	
合　計	0	3	3	

〈各論　文化：民俗・文化遺産〉（担当：山川研究員）	件数（件）			人数（人）
	学校	一般	合計	
世界遺産をめぐる国際社会とこれからの保護	0	1	1	428人
富士山と私たちの暮らし	2	0	2	
富士山の不思議な話、ちょっと怖い話	3	2	5	
合　計	5	3	8	

総合計
41件 （2,435人）

4　2020年度出前講座実施一覧

〈富士山入門〉

番号	開催日	団　　体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	9月3日	静岡市立大里西小学校	学校	小学5年	中部	170	「世界遺産の富士山を学ぼう」
2	9月8日	富士宮市立上野中学校	学校	中学1年	東部	55	「世界遺産の富士山を学ぼう」
3	9月19日	富士宮第四中学校	学校	中学1年	東部	192	「世界遺産の富士山を学ぼう」
4	9月24日	静岡県立浜松北高校 定時制	学校	高校3年	西部	18	「世界遺産の富士山を学ぼう」
5	10月23日	焼津市立東益津小学校	学校	小学5年	中部	87	「世界遺産の富士山を学ぼう」
6	10月27日	富士市立岩松小学校	学校	小学5年	東部	84	「世界遺産の富士山を学ぼう」
7	11月1日	朝霧野外活動センター 「あさぎりカーニバル」	一般	一般	東部	81	「ふじさんってどんな山？」
8	11月17日	焼津市立黒石小学校	学校	小学5年	中部	108	「世界遺産の富士山を学ぼう」
9	1月28日	函南町教育委員会 生涯学習課	一般	高齢者	東部	39	「世界遺産の富士山を学ぼう」
10	2月18日	鷹岡まちづくりセンター	一般	高齢者 （60歳以上）	東部	9	「世界遺産の富士山を学ぼう」
11	2月20日	朝霧野外活動センター 「２２３ウォーキング」	一般	一般	東部	137	「世界遺産の富士山を学ぼう」
12	3月2日	富士市立大渕第二小学校	学校	小学 1～6年	東部	31	「世界遺産の富士山を学ぼう」
13	3月2日	富士市立大渕第二小学校	学校	小学4年	東部	8	「世界遺産の富士山を学ぼう」

〈各論：文化（美術）〉

番号	開催日	団　　体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	11月9日	千代田東小学校	学校	小学5年	中部	68	「ふじさんを描いてみよう！」
2	10月30日	富士宮市立中央図書館	一般	一般	東部	8	「日本の美と心―富士山」
3	2月24日	富士山世界文化遺産 裾野市民協議会	一般	一般希望者	東部	44	「富士山と徳川将軍」

〈各論：歴史（信仰）〉

番号	開催日	団　　体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	10月２日	東海大学短期大学	学校	短大２年	中部	30	「富士山の歴史を学ぶ」
2	10月20日	静岡文化芸術大学	学校	大学１～４年	西部	200	「富士山の歴史を学ぶ」
3	９月27日	熱海市　末代上人熱海の会	一般	会員	東部	40	「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」
4	10月７日	静岡市清水区入江生涯学習交流館	一般	高齢者	中部	40	「富士山の歴史を学ぶ」
5	10月31日	修善寺図書館	一般	一般	東部	18	「江戸時代の富士登山」
6	11月28日	須走まちづくり推進協議会	一般	地区住民 一般	東部	35	「富士山の歴史を学ぶ」
7	11月30日	御殿場市「市民大学講座」	一般	市内在住・ 通勤通学者	東部	60	「富士山の歴史を学ぶ」

〈各論：火山・地質・防災〉

番号	開催日	団　　体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	６月18日	富士宮市立北山中	学校	中学１年	東部	50	「富士山の噴火史と火山防災 （ハザードマップの読み方）」
2	10月20日	静岡市立森下小学校	学校	小学５年	中部	62	「静岡県の活火山（富士山、箱根山、 伊豆東部火山群）を比較してみよう」
3	10月22日	伊東市立門野中学校	学校	中学２年	東部	96	「静岡県の活火山（富士山、箱根山、 伊豆東部火山群）を比較してみよう」
4	10月27日	伊豆の国市立大仁中学校	学校	中学１年	東部	105	「静岡県の活火山（富士山、箱根山、 伊豆東部火山群）を比較してみよう」
5	１月21日	静岡県立浜松北高校 定時制	学校	高校３年	西部	22	「静岡県の活火山（富士山、箱根山、 伊豆東部火山群）を比較してみよう」
6	８月26日	富士宮市立中央図書館	一般	一般	東部	23	「静岡県の活火山（富士山、箱根山、 伊豆東部火山群）を比較してみよう」
7	２月17日	富士宮市 観光ガイドボランティアの会	一般	一般市民	東部	32	「静岡県の活火山（富士山、箱根山、 伊豆東部火山群）を比較してみよう」

〈各論：文学〉

番号	開催日	団　　体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	11月4日	蒲原生涯学習交流館	一般	一般女性 （60～70歳代）	中部	24	「古典文学と富士山」

番号	開催日	団　　体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
2	11月18日	焼津市東益津公民館	一般	地域住民	中部	22	「富士山の伝説」
3	1月22日	小川公民館（焼津市）	一般	一般	中部	9	「古典文学と富士山」

〈各論：民俗・文化遺産〉

番号	開催日	団　　体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	6月12日	御殿場市立印野小	学校	小学6年	東部	26	富士山と私たちの暮らし
2	9月11日	筑波大学付属中学校	学校	中学3年	県外	40	富士山と私たちの暮らし
3	9月11日	伊東高（定）	学校	高校 1～4年	東部	40	富士山の不思議な話、 ちょっと怖い話
4	11月2日	富士宮第四中学校	学校	中学1年	東部	192	富士山の不思議な話、 ちょっと怖い話
5	11月4日	焼津南小学校	学校	小学5年	中部	49	富士山の不思議な話、 ちょっと怖い話
6	10月15日	港地域づくり推進会	一般	地域一般 （60～70歳代）	中部	11	富士山の不思議な話、 ちょっと怖い話
7	2月18日	静岡市南部公民館	一般	一般	中部	40	富士山の不思議な話、 ちょっと怖い話
8	3月23日	公益社団法人 静岡県茶手揉保存会	一般	会員	中部	30	世界遺産をめぐる国際社会と これからの保護

2-2-5 館内講座

1 館内講座の概要

富士山について学ぶ機会の提供を目的として、富士山に係る最新の調査・研究及び、企画展示の見どころについて、一般の方々を対象に館内講座を実施した。毎月第3日曜日を開催基準日と設定し、センターの研究員や外部の専門家と一般の方々が富士山を題材に、「広く交わる」有意義な講座を開催してきた。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、4月から6月は実施できず、7月から再開した。再開後も新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じての実施となった。主なものとしては、換気・消毒の徹底、定員（30名）の設定、受付整理券の配布、参加者への連絡票記入依頼などである。

実施状況は以下のとおりである。

2 実施状況

2020年度 受講者数180名

開催日	講　座　名	講　　師	人数（名）
7月19日(日)	「失われた風景を求めて ―富士山絵画との時間旅行―」	静岡県富士山世界遺産センター 松島仁教授	7
8月21日(金)	「企画展イベントサイエンスレクチャー① 【特集】富士山研究の最前線」	山梨県富士山科学研究所 馬場章研究員 産総研地質調査総合センター 小野昌彦研究員 ふじのくに地球環境史ミュージアム 岸本年郎教授	30
9月13日(日)	「企画展イベントサイエンスレクチャー② 火山湧水に潤う地域」	静岡県富士山世界遺産センター 小林淳教授 富山県立山カルデラ砂防博物館 丹保俊哉学芸員	30
9月27日(日)	「企画展イベントサイエンスレクチャー③ 富士山湧水が育む駿河湾と湧水の利活用」	静岡県環境衛生科学研究所 村中康秀部長 ふじのくに地球環境史ミュージアム 渋川浩一教授	27
10月18日(日)	「富士山眺望の地　薩埵峠の文学」	静岡県富士山世界遺産センター 田代一葉准教授	13
11月15日(日)	「ハイブリッド狩野派展　特別イベント」 対談「江戸絵画をもっと楽しもう！」	静岡県富士山世界遺産センター 松島仁教授 萬美術屋、北斎館館長 安村敏信氏 美術評論家・ブログ「青い日記帳」主宰 Tak氏	14
12月20日(日)	「平安末期の富士山信仰 ～富士市・医王寺経塚出土資料とその周辺」	富士市埋蔵文化財調査室 藤村翔学芸員	12
1月17日(日)	「「富士山絵伝」の絵解き解説」	昭和女子大学非常勤講師 阿部美香氏	44
3月21日(日)	「地球システムの一場面“富士山”」	奇石博物館副館長 北垣俊明氏	3
		合　　計	180

2-2-6 世界遺産セミナー

1 概　要

静岡県富士山世界遺産センターで実施している調査研究の成果を、広く社会に還元するため、毎年度２回、富士山世界遺産セミナーを開催している。

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、定員の削減や、事前申込とするなどの対策を行い開催することとしたが、１月開催を予定していた沼津市でのセミナーは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止した。

2020年度開催実績

開催日	共催	テーマ・内容	参加人数
11月８日	静岡市 （三保生涯学習交流館）	『富士山・三保松原・清見寺 ―ある古典のバイオグラフィー―』 古来日本絵画の定型のひとつとして、芸術家たちに描かれてきた三保松原から望む富士山の景観について講演した。	34人
〈中止〉 １月24日	沼津市 （沼津市民文化会館）	『富士山と駿河湾』 富士山と駿河湾の自然環境や歴史・文化的つながりについての講演を行う予定であった。	中止

（静岡市における
セミナーの様子）

（中止となった
沼津市セミナーポスター）

2-2-7 世界遺産ニュースレター

1 概　要

世界遺産ニュースレターは、「富士山」の世界文化遺産登録の気運醸成のため、世界文化遺産登録前の2007年11月に創刊した。

世界文化遺産「富士山」の後世継承のため、県富士山世界遺産課、富士山世界遺産センターを中心に富士山に係る最新情報を年３回発行し、県民やセンター来館者に向けて提供している。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、富士山は夏山登山期も閉山となり、世界遺産ニュースレターは43号のみの発行となった。

2020年度実績

発行		43号 2021年３月
紙面構成	表紙	第一回絶景・秀景富士山世界遺産写真コンテスト 絶景しずおか富士山部門グランプリ作品「飛翔」
	２面	今夏の富士山開山に向けた取組（県富士山世界遺産課）
	３面	富士山の自然環境を守るためにできること（県自然保護課） 世界遺産センターの広報（令和３年度企画展、メール会員募集）
	４面	研究員コラム「富士山剣ヶ峰と「日本最高峰富士山剣ヶ峰」標柱」（大高教授）

2-2-8 ホームページ及びFacebookによる情報発信

静岡県富士山世界遺産センターでは、インターネットにおける情報発信の手段としてホームページおよびFacebookにより情報発信を行った。ホームページでは主に、企画展やイベントの情報を、Facebookでは主に、イベント開催実績などタイムリーな出来事を発信した。

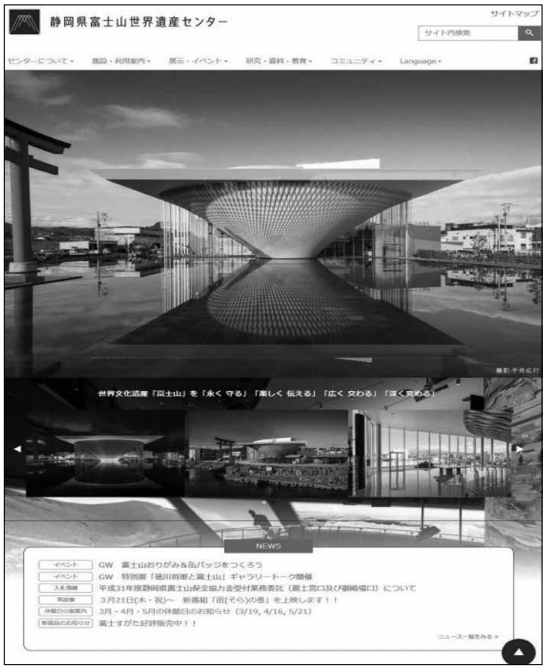
2020年度は、８月にホームページのトップページを改修した。センター風景動画や新型コロナウイルス感染対策防止案内など閲覧者の必要とする情報をより見やすい形に変更した。

ＨＰアドレス：https://mtfuji-whc.jp/

Facebookアドレス：https://www.facebook.com/TheFujisanWHC/?fref=ts

※ホームページアクセス数：2020年度　167,700回

〈HP〉改修前



改修後

〈Facebook〉

2-2-9 メール会員

1 概　要

静岡県富士山世界遺産センターでは、年６回開催の企画展や各種イベント情報等、センターの最新情報をメールマガジンで配信するメール会員の募集・運用を８月から開始した。

センターの最新情報をタイムリーに配信するだけではなく、センター研究員による企画展特別解説等、メール会員限定の特典企画を定期号として毎月１日に発信。また、来館者100万人達成の際には、号外にて記念イベントの情報を発信した。

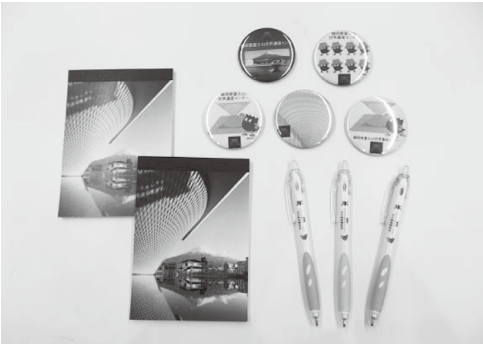
８月１日～９月30日、１月１日～１月31日、２月23日（富士山の日）に新規入会者にプレゼントを配布する「入会キャンペーン」を実施した。

キャンペーン期間中の入会者対象に、富士山世界遺産センターオリジナル缶バッジ、オリジナルメモ帳、オリジナルボールペンのいずれかを入会特典のプレゼントとして配布した。

会員数956人（2021年３月31現在）

募集アドレス

https://mtfuji-whc.jp/mailmagazine/



2-3 広く交わる

2-3-1 地域貢献・広域連携（富士山ネットワーク加盟）

1 概　要

地域貢献、富士山周辺の博物館施設との広域連携を目的に、静岡県富士山世界遺産センターは、2018年度から「富士山ネットワーク推進委員会（以下、富士山ネットワーク）」に加盟している。「富士山ネットワーク」とは富士山を中心に点在する博物館関係施設が、サービスの向上と効果的なＰＲを目指して1993年に組織したもので、現在、「富士山かぐや姫ミュージアム」「裾野市立富士山資料館」「富士山樹空の森」「奇石博物館」「富士サファリパーク」「富士山こどもの国」と当センターの７館園が加盟している。

例年であれば、夏休みには小学生を対象に、作文、絵日記、工作などの作品を募集する「夏休み富士山ぐるりんコンテスト」を開催し、入選作品の表彰式や各館での巡回展を行ってきた。また、各館のイベントや市民イベント等に出展し、クイズや体験ブースを設置しＰＲ活動を行った。しかし、2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年度当初の定例会が中止され、６月に予定されていた館園長会議が中止された。また、すべてのPR活動が中止となった。

定例会では、コロナ禍における各館園の運営状況の確認、PR方法の検討が行われた。新規のＰＲ方法として、SNSを活用した館園写真掲載等が行われた。

2 主な活動

月日	内　　容	場　　所
４、５月	ネットによる定例会	
７月３日 ９月11日 10月９日 11月13日 12月４日 ３月12日	定例会実施（７月、９月、10月、11月、12月、３月） おもな議題： ・コロナ禍における富士山ネットワークPR方法の検討 ・「ぐるりんマップ」作成、配布先確認 ・地方ラジオ局でのPR ・ＳＮＳを活用しての「富士山ネットワーク」ＰＲ ・会計処理規定見直し	富士山こどもの国（７月） 奇石博物館（９月） 静岡県富士山世界遺産センター（10月、３月） 富士山樹空の森（11月） 裾野市立富士山資料館（12月）
３月14日	世界遺産センター春のイベント （コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止）	富士山世界遺産センター

2-3-2 視察受入

1 概　要

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る外出自粛の影響により、視察件数が例年よりも大幅に減少し、自治体の世界遺産関係部署及び施設運営関連部署等からの行政視察、建築関係及び観光関係等の民間企業や各種団体からの視察を含め、19件、148人受入れた。

（1）件数

（単位：件）

年月	行政・議会							民間	その他団体	合計
	静岡県	県内市町	国	他県	海外（国）	海外（自治体）	合計			
2020年４月計							0	1		1
５月計							0			0
６月計				1			1			1
７月計							0		1	1
８月計	1	1					2	1		3
９月計		1					1	1	2	4
10月計							0	1		1
11月計	2	1		1			4	1		5
12月計		1					1		2	3
2021年１月計							0			0
２月計							0			0
３月計							0			0
計	3	4	0	2	0	0	9	5	5	19

（2）人数

（単位：人）

年月	行政・議会							民間	その他団体	合計
	静岡県	県内市町	国	他県	海外（国）	海外（自治体）	合計			
2020年４月計							0	39		39
５月計							0			0
６月計				1			1			1
７月計							0		7	7
８月計	4	3					7	2		9
９月計		3					3	1	31	35
10月計							0	3		3
11月計	28	6		2			36	5		41
12月計		5					5		8	13
2021年１月計							0			0
２月計							0			0
３月計							0			0
計	32	17	0	3	0	0	52	50	46	148

2-4 深く究める

2-4-1 巡礼路調査

1 概　要

静岡県（事務局：静岡県富士山世界遺産センター）では、これまで総合調査が実施されていない登山道及び山麓の構成資産間を結ぶ巡礼路の研究計画を策定するとともに、巡礼路等の調査を実施するため、2015年に考古学、歴史学、民俗学、美術史といった各分野の学識者で構成される「富士山巡礼路調査委員会」を設置した。

2015年から2018年度にかけては、小山町との連携の下に、須走口登山道の調査を実施し、その成果は2018年度に『富士山巡礼路調査報告書　須走口登山道』として刊行した。

2017年度から2020年度にかけては、富士市及び富士宮市との連携の下に、大宮・村山口登山道の調査を実施した。この調査の成果は、2021年３月に『富士山巡礼路調査報告書　大宮・村山口登山道』として刊行した。さらにはこの成果を広く周知する機会として、2021年度に静岡県富士山世界遺産センター企画展、特別講座（シンポジウム）を開催し、情報提供戦略へ適切に反映していく。

2 富士山巡礼路調査委員会の役割

（１）県が策定する巡礼路調査計画に関すること
（２）巡礼路調査の実施に関すること
（３）巡礼路調査報告書の作成に関すること
（４）その他、巡礼路調査等に関すること

3 富士山巡礼路調査委員会の構成

職　名	氏　名	専攻分野	職　　名
委 員 長	中村羊一郎	民俗学	静岡産業大学総合研究所客員研究員
副委員長	菊池　邦彦	日本近世史	東京都立産業技術高等専門学校名誉教授
委　　員	時枝　　務	歴史考古学	立正大学文学部教授
委　　員	松田香代子	民俗学	松田民俗研究所代表
委　　員	山本　　勉	美術史（仏像）	東京国立博物館名誉館員

※事務局　静岡県富士山世界遺産センター学芸課（担当　大高康正）

4 事務局及び各市町担当者の業務内容

（１）富士山巡礼路調査委員会への出席
（２）調査予定先との連絡調整、現地調査の立会い

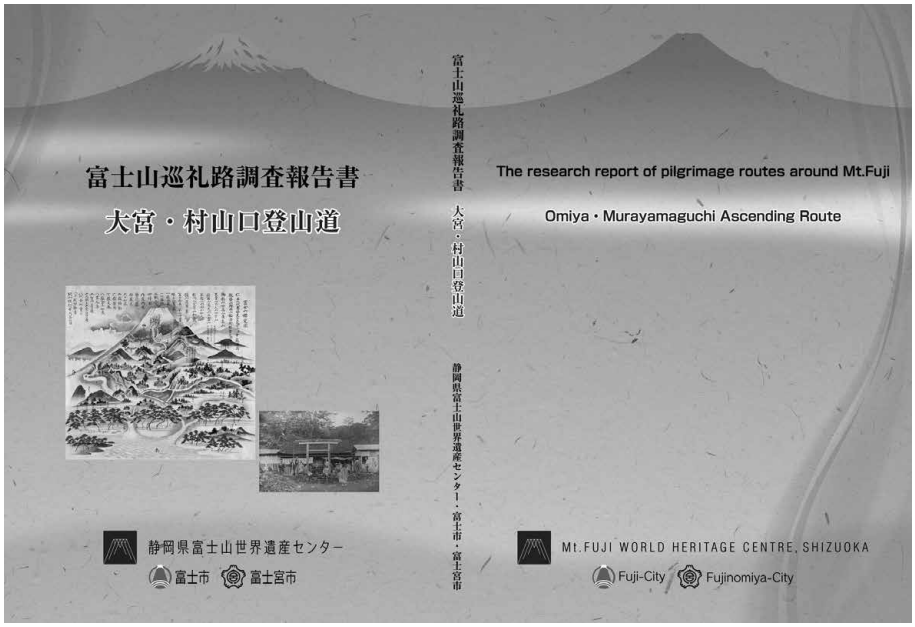
（３）登山道の経路を把握するための現地踏査（GPSデータの取得）
（４）現地調査先での資料調査（聞き取り調査、資料撮影など）
（５）調査成果の整理（撮影資料の目録採録、巡礼路調査報告書の分担執筆）

5　2020年度の調査内容

・５月18日　同年度第一回調査委員会（書面決議により実施）
・報告書『富士山巡礼路調査報告書　大宮・村山口登山道』の原稿執筆、編集作業

その他、調査委員、調査補助員、富士市担当職員、富士宮市担当職員、事務局センター研究員とで補足調査を実施した。また報告書の分担執筆を行った。分担執筆者は以下の通りである（五十音順）。

石川武男（富士市市民部文化振興課）、伊藤昌光（元富士宮市教育委員会）、井上卓哉（富士市市民部文化振興課）、大高康正（静岡県富士山世界遺産センター）、勝又直人（静岡県埋蔵文化財センター）、菊池邦彦（東京都立産業技術高等専門学校名誉教授）、小林淳（静岡県富士山世界遺産センター）、田代一葉（静岡県富士山世界遺産センター）、時枝務（立正大学文学部教授）、中村羊一郎（静岡産業大学総合研究所客員研究員）、花澤明優美（清泉女子大学大学院）、松田香代子（松田民俗研究所代表）、松本将太（富士宮市教育委員会）、山川志典（静岡県富士山世界遺産センター）、山本勉（東京国立博物館名誉館員）、渡井英誉（富士宮市教育委員会）



2-4-2 研究活動

○松島　仁（まつしま　じん）教授

1　著書　　なし

2　雑誌等論文

・「表富士―東海道、眺めのいい街道」（『聚美』第36号、聚美社、2020年８月）

・「ハイブリッド狩野派　狩野素川彰信とその時代」(『ハイブリッド狩野派』、静岡県富士山世界遺産センター、2020年10月）

・「東アジア山水画のなかの富士山と金剛山－善隣外交の文化交流前史」（『朝鮮通信使研究』第30号、朝鮮通信使学会〈日本語及び韓国語〉、2020年12月）

・「狩野常信の富士山」（『富士山学』創刊号、雄山閣、2021年３月）

・「徳川から明治へ―近世・近代日本の心性に屹立する富士山」（佐野みどり先生古稀記念論集刊行会編『造形のポエティカ―日本美術史を巡る新たな地平』、青簡社、2021年３月）

3　報告書等　　なし

4　その他の執筆

・「学問の思い出：小林忠先生を囲んで」司会進行役（『東方學』141号、一般財団法人東方學會、2021年１月）

5　学会講演

・2020年10月23日「東アジア山水画のなかの富士山と金剛山－善隣外交の文化交流前史」（2020朝鮮通信使学会国際学術シンポジウム、韓国・釜山、オンライン発表〈韓国語同時通訳付〉）

6　一般講演

・2020年９月25日「CAASユニット　タイモン・スクリーチ教授（ロンドン大学SOAS）講演会：Tokugawa Ieyasu and Kano Painting School　コメンテーター」（東京外国語大学、オンライン発表）

・2020年10月30日「令和２年度図書館講座　忘れられた人気絵師　狩野素川彰信を探せ！」（富士宮市立中央図書館）

・2020年10月31日「わくわく世界サミット　博物館学芸員の仕事」（富士宮青年会議所）

・2020年11月８日「第11回富士山世界遺産セミナー〈富士・三保・清見寺〉という古典（カノン）―徳川家康が描かれた新出「富士三保清見寺図屏風」の紹介も兼ねて―」（静岡県富士山世界遺産センター・静岡市）

・2021年２月24日「富士山の日記念講演会　徳川将軍と富士山」（裾野市生涯学習課）

・2021年３月７日「来館者100万人記念講演会　富士山絵画の宝石箱」(静岡県富士山世界遺産センター）

7　授業　　なし

8　社会的活動

（1）委員・役員

・徳川記念財団特別研究員

（2）非常勤講師・客員教員等　　なし

（3）査読　　なし

（4）学術交流・研究会の開催　　なし

9　テレビ・ラジオ・新聞等への出演

【テレビ】

・2020年６月28・29日　NHK静岡放送「ニュースしずおか」「おはよう静岡」（企画展「表富士」）
・2020年７月16日　トコチャンネル「トコチャンワイド」（企画展「表富士」）
・2020年７月17日　静岡朝日テレビ「とびっきり！しずおか　今年の富士山の楽しみ方」

【ラジオ】

・2020年６月１日　ラジオＦ「ミュージアムリンク」表富士展解説
・2020年７月６日　ラジオＦ「ミュージアムリンク」表富士展解説
・2020年10月５日　ラジオＦ「ミュージアムリンク」ハイブリッド狩野派展解説
・2020年11月２日　ラジオＦ「ミュージアムリンク」ハイブリッド狩野派展解説

【新聞】

・2020年５月31日　読売新聞日曜版「よみほっと　ニッポン探景　源流編　逆さ富士」
・2020年７月15日　毎日新聞静岡「昔の人が眺めた富士　ふもと２カ所で展覧会」
・2020年７月15日　富士ニュース「絵画と風景を対照　世界遺産センター収蔵品展の映像配信」
・2020年10月22日　静岡新聞ワイドしずおか「狩野素川彰信の企画展　世界遺産センター研究成果、初公開作並ぶ」
・2020年10月23日　西日本新聞「朝鮮通信使の役割を評価　日韓研究者がエピソードを紹介　記憶遺産３周年」
・2020年10月30日　岳南朝日「江戸期の人気絵師狩野素川彰信の画風に魅了」
・2020年11月１日　岳南朝日「江戸期の人気絵師狩野素川彰信を学び　富士宮市立中央図書館　松島教授（県富士山世界遺産センター）が講話」
・2020年11月28日　富士ニュース「素川彰信の魅力解説　世界遺産センターハイブリッド狩野派の講座」
・2020年12月３日　岳南朝日「ヒューマンストーリー人　富士山と文化の研究深め　県富士山世界遺産センター教授　松島仁さん」
・2020年12月27日　岳南朝日「ふるさとを語る　松島仁さん」
・2021年３月10日　岳南朝日「富士の絵画に学び深め　県世界遺産センター来館者100万人記念　松島教授が講演」

10　海外学術調査　　なし

○小林　淳（こばやし　まこと）教授

1　著書（編著・単著）　　なし

2　論文

・「伊豆諸島、新島火山宮塚山イベント以降のテフラ層序と噴火史」（小林　淳・青木かおり・村田昌則・西澤文勝・鈴木毅彦：火山、65-2、21-40）※査読あり
・「箱根火山の地質と形成史―最近の研究レビュー―」（山口珠美・山下浩之・萬年一剛・小林　淳：現代的な視点による神奈川県地質市の構築、神奈川県立博物館調査研究報告（自然科学）：16、137-160）※査読なし

3　報告書等

・「大宮・村山口登山道の自然・地理的環境」（小林　淳：富士山巡礼路調査報告書：大宮・村山口登山道、22-40：静岡県富士山世界遺産センター・富士宮市・富士市、2021年３月）

4　その他の執筆

・「富士火山の噴火史研究で目指すもの―世界遺産富士山の信仰と芸術の礎として―」（小林　淳：富士山学、１、5-19：静岡県富士山世界遺産センター、2021年３月）

5　学会講演

・2020年７月12日～16日「伊豆諸島，神津島北部で発生した９世紀天上山噴火に先立つ噴火」（村田昌則・小林　淳・高橋尚志・青木かおり・鈴木毅彦：JpGU-AGU Joint Meeting 2020: Virtual、SVC45-03）

・2020年７月12日～16日「相模川（桂川）上流域における富士相模川泥流の分布と岩相変化」（白井正明・小林　淳・宇津川喬子・河尻清和・高橋尚志：JpGU-AGU Joint Meeting 2020: Virtual、HQR06-P06）

・2020年９月26日「静岡県富士山世界遺産センターにおける火山研究」（小林　淳・馬場　章：国際火山噴火史情報研究集会（福岡大学：Webex meeting併用）、1-02）

・2020年10月８日～10日「伊豆諸島，神津島火山における過去3万年間の火山噴出量」（村田昌則・小林　淳・青木かおり・高橋尚志・西澤文勝・鈴木毅彦：日本火山学会2020年度秋季大会（オンライン大会）、P19）

・2020年10月８日～12日「赤色立体模型を用いた富士山プロジェクションマッピング」（江川　香・佐々木　寿・千葉達朗・佐野実可子・阪本知典・岸本英一・小林　淳：日本火山学会2020年度秋季大会（オンライン大会）、P12）

・2020年12月26日「房総沖掘削コアC9010Eのテフラ層序―利島で発見された新たな流紋岩質テフラと浅間火山起源テフラ―」（青木かおり・高橋尚志・小林　淳・村田昌則・鈴木毅彦：日本第四紀学会2020年オンライン大会）

・2020年12月26日「伊豆諸島北部，利島における流紋岩質テフラの層序と対比」（高橋尚志・青木かおり・村田昌則・小林　淳・鈴木毅彦：日本第四紀学会2020年オンライン大会）

・2021年２月20日「富士山周辺の風化火山灰土の産状について」（愛鷹山麓の後期旧石器時代前半期における狩猟活動と植生改変、第35回考古学研究会東海例会（オンライン集会））

・2021年３月１日～２日「房総沖掘削コアC9010Eに介在するテフラ層序研究の進捗と概要」（青木かおり・小林　淳・村田昌則・高橋尚志・石村大輔・西澤文勝・鈴木毅彦：高知大学海洋コア総合研究センター、令和２年度共同利用・共同研究成果発表会（オンライン発表会））

6　一般講演

・2020年１月５日～６日「神津島火山の成り立ち―数万年前に遡る爆発的噴火の歴史―」（観光まちづくりの支援アドバイザー派遣事業：神津島観光協会）

・2020年２月２日「火山ハザードマップの見方・読み方について」（静岡県ふじのくに防災士フォローアップ研修：静岡県危機管理部）

・2020年３月22日～23日「神津島“火山”の恵み―長年の噴火活動によって創出された資源」（観光まちづくりの支援アドバイザー派遣事業：神津島観光協会）

・2020年８月26日「富士山の湧水の気になることを“科学的な目”でみる」（富士宮市中央図書館講座）

・2020年９月17日「富士山ハザードマップの読み解き方―火山防災につなげるために―」（御殿場市自主防災連合会）
・2020年11月27日「火山災害の特殊性と富士山噴火―富士山火山ハザードマップの読み解き方―」（第１回　富士山火山対策連絡会：静岡県警察）
・2020年12月３日「富士山の火山防災について―火山災害の特殊性と富士山ハザードマップ―」（県境を越えた防災連絡会議）
・その他、富士山世界文化遺産出前講座を適宜対応

7　授業

・2020年11月17日「火山噴火に対するソフト対策・ハード対策について」（東京都立大学、都市環境科学特別講義第４）
・2020年12月25日「世界遺産富士山の普遍的価値とは」（静岡大学、地域総合学環専門科目「自然遺産の保護と活用」）

8　社会的活動

（1）委員・役員

・富士山火山防災協議会　構成機関（静岡県富士山世界遺産センター）
・箱根山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会　委員
・日本火山学会特集号「噴火史研究と火山観測を統合した新たな火山像の確立」編集委員会　委員
・観光まちづくり支援アドバイザー（派遣先：神津島観光協会）（東京観光財団）

（2）非常勤講師・客員教員等

・静岡大学防災総合センター　客員教授
・首都大学東京都市環境学部　客員准教授

（3）査読

・第四紀研究（日本第四紀学会）
・火山土地条件図「箱根山」解説書（国土交通省国土地理院）

（4）学術交流・研究会の開催　　なし

（5）他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

・2020年５月～　　富士宮市史編さん事業（執筆員）
・2020年10月23日　裾野市生涯学習課：富士山溶岩流由来の市内天然記念物に関する技術支援
・2020年12月23日　武蔵高等学校中学校：「箱根火山」地学巡検の講師
・その他、適宜対応

9　テレビ・ラジオ・新聞等への出演

・2020年５月23日　朝日新聞：富士山―４．火山地質図改訂　火山活動新たなステージに
・2020年６月20日　富士山新報：富士山の噴火史と火山防災について学習　北山中学校
・2020年８月３日　ラジオエフ　ミュージアム・リンク　最新情報　企画展『富士山の湧水』
・2020年８月８日　朝日新聞：富士山―６．噴火がもたらす恵み　「水道管」溶岩層通り滝に川に
・2020年８月９日　静岡新聞：富士山の湧水　多角的に紹介
・2020年８月12日　SBSテレビ：Soleいいね！
・2020年８月28日　岳南朝日：“科学の目”で富士山を語る。―富士宮市立中央図書館講座―
・2020年９月７日　ラジオエフ　ミュージアム・リンク　最新情報　企画展『富士山の湧水』

・2020年９月９日　NHK静岡：おはよう静岡
・2020年８月８日　朝日新聞：富士山―６．噴火がもたらす恵み　「水道管」溶岩層通り滝に川に
・2020年10月24日　朝日新聞：富士山―14．白糸の滝　地質が露出、断面に出る湧水
・2020年10月24日　静岡コミュティチャンネル：静岡彩発見「富士山湧水」―人々の生活を潤す奇跡の湧水―

10　海外学術調査　　なし

○大高　康正（おおたか　やすまさ）教授

1　著書（編著・単著）

・『古地図で楽しむ富士山』（大高康正（編著）、風媒社、2020年７月）

2　論文

・「古絵図にみる中世後期から近世初期の村山集落の形成」（『富士学研究』16巻１号、富士学会、2020年３月）
・「「参詣曼荼羅」の呼称に関する一考察」（『研究発表と座談会』47号「参詣曼荼羅の諸相」、一般財団法人仏教美術研究上野記念財団、2021年３月）
・「富士山の「合目」標記に関する一考察」（静岡県富士山世界遺産センター編、『富士山学』創刊号、雄山閣、2021年３月）

3　報告書等

・『富士山巡礼路調査報告書　大宮・村山口登山道』（静岡県富士山世界遺産センター編、分担執筆・編集担当、静岡県富士山世界遺産センター、2021年３月）
・『建穂寺観音堂跡発掘調査報告書』（静岡市教育委員会編、「文献資料にみる建穂寺の歴史」寄稿、静岡市教育委員会、）
・『富士山東泉院の歴史』（富士山かぐや姫ミュージアム編、「富士山東泉院のはじまり」分担執筆、富士山かぐや姫ミュージアム、2021年３月）

4　その他の執筆

・『富士山噴火の考古学』（富士山考古学研究会編、「文献にみる富士山の宝永火山噴火の被害」分担執筆、吉川弘文館、2020年７月）
・「富士参詣曼荼羅にみる富士山表口の信仰空間―静岡県側の富士山信仰の特質―」（『静岡県民俗学会誌』33号、静岡県民俗学会、2020年12月）
・「富士山剣ヶ峰と「日本最高峰富士山剣ヶ峰」標柱」（『News Letter』vol.43、静岡県富士山世界遺産センター、2021年３月）
・「（書評と紹介）川合泰代著『聖地への信仰　地理学からのアプローチ』」（『山岳修験』66号、日本山岳修験学会、2021年３月）
・「第四十回日本山岳修験学会　山寺学術大会参加記」（『山岳修験』66号、日本山岳修験学会、2021年３月）

5　学会講演

・学会開催の延期等により、特になし

6　一般講演

・2020年９月27日　末代上人の会講座：「地獄を絵解く～熊野観心十界曼荼羅」
・2020年10月７日　静岡市清水区入江生涯学習交流館：「富士山の歴史を学ぶ」
・2020年10月31日　伊豆市立修善寺図書館：「絵解きであらわす富士山表口～「曼荼羅図」から「禅定図」へ」
・2020年11月28日　すばらしり隊養成講座：「富士山の信仰と登山道」
・2020年11月30日　御殿場市民大学講座：「富士峯修行～「戦後」行われなくなった富士山山伏の根本修行～」

7　授業

・2020年10月２日　東海大学短期大学部：「静岡と世界遺産」
・2020年10月20日　静岡文化芸術大学：「富士山と富士山信仰」

8　社会的活動

（1）委員・役員

・小山町文化遺産を活かした巡拝の道づくり委員会委員
・日本山岳修験学会理事
・日本山岳修験学会富士山学術大会実行委員
・富士市文化財保護審議会審議委員
・富士宮市史（中世）執筆員

（2）非常勤講師・客員教員等　　なし

（3）査読

・日本山岳修験学会　第28・29回学会賞・第15・16回奨励賞選考委員

（4）学術交流・研究会の開催

・学会開催の延期等により、特になし

（5）他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

・2020年10月９日　NHK静岡放送局：NHK地域局発静岡スペシャル「静かな富士山―特別な夏の記録―」取材協力、その他適宜対応。

9　テレビ・ラジオ・新聞等への出演

・2021年１月16日　NHK：ETV特集「円空　仏像に封印された謎」出演

10　海外学術調査　　なし

○田代　一葉（たしろ　かづは）准教授

1　著書（編著・単著）　　なし

2　論文

・「寛政度清涼殿障子和歌と裏松固禅」（『国語と国文学』第97巻第11号、2020年11月）
・「近世中後期の堂上歌人による名所障子歌の制作について」（『近世文藝』第113号、2021年１月）
・「薩埵峠から富士山を望む」（鈴木健一編『東海道五十三次をよむ』、三弥井書店、2020年）

3　報告書等　　なし

4　その他の執筆

・「歌枕点描－詠われた富士見の風景」（『聚美』第36号、2020年８月）

・「新入会館園紹介（令和２年度）」（『博物館研究』第55号、2020年８月）
・「麻生浦旧記帖」和歌翻刻・解説（『富士山巡礼路調査報告書　大宮・村山口登山道』資料篇（静岡県富士山世界遺産センター編）、2021年３月）
・「2020年の富士山」（静岡県富士山世界遺産センター編、『富士山学』創刊号、雄山閣、2021年３月）

5　学会講演　　なし

6　一般講演　　なし

7　授業　　なし

8　社会的活動

（１）委員・役員　　なし

（２）非常勤講師・客員教員等　　なし

（３）査読　　なし

（４）学術交流・研究会の開催　　なし

（５）他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

・北海道博物館より佐呂間町にある寺院蔵の拓本についての問い合わせ対応。
・NHK総合「おはよう日本」の、富士山の異称を取り上げる特集コーナーへの助言。
・NHKラジオ第一「石丸謙二郎の山カフェ」〈2020年11月13日放送、「特集　いにへの都で山歩き」〉への歌枕の所在地についての助言。
・小学館発行『サライ』の『万葉集』特集への助言。　　など

9　テレビ・ラジオ・新聞等への出演　　なし

10　海外学術調査　　なし

◯山川　志典（やまかわ　ゆきのり）研究員

1　著書（編著・単著）　　なし

2　論文

・「国指定天然記念物における伝承を有する植物の実態」『口承文藝研究』第43号、2021年３月）

3　報告書等

・「明治以降の村山集落と村山浅間神社・興法寺大日堂」（静岡県富士山世界遺産センター編『富士山巡礼路調査報告書　大宮・村山口登山道』、静岡県富士山世界遺産センター・富士宮市・富士市、2021年３月）

4　その他の執筆

・「書評『古地図で楽しむ富士山』」（静岡県富士山世界遺産センター編、『富士山学』創刊号、雄山閣、2021年３月）

5　学会講演　　なし

6　一般講演

・富士山世界文化遺産出前講座を適宜対応

7　授業　　なし

8　社会的活動

（１）委員・役員

・御殿場市文化財審議委員

（2）非常勤講師・客員教員等

・神奈川大学国際常民文化研究機構　共同研究者

（3）査読

・『東海自然誌』

・『文化資源学研究』

（4）学術交流・研究会の開催　　なし

（5）他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

・筑波大学付属中学校オンライン講座（2020年９月11日）

・雑誌『はれ予報』2021年３月号（日経BPコンサルティング）取材協力

・卒業論文等研究に関する対応４件

・富士山・世界遺産に関する問い合わせ適宜対応

9　テレビ・ラジオ・新聞等への出演

・県民だよりNo.775（2021年１月31日）

10　海外学術調査　　なし

2-4-3 資料収集

1　資料収集の方針

静岡県富士山世界遺産センターでは、設置目的である富士山の価値の後世継承、富士山学の研究、情報発信拠点としての役割を果たすため、富士山に関する資料を以下の視点から収集している。

（1）「信仰の対象」と「芸術の源泉」としての普遍的な価値を証明する資料を収集する。

（2）貴重な文化財の滅失や散逸を防ぐとともに、富士山学の研究の充実や教育の普及、集客力の強化に活用する資料を収集する。

2　2020年度収集作品

2020年度は下記７件の資料を収集した。各作品の概要と収集の理由は下記のとおり。

（1）購入

・「富士三保清見寺図」狩野伊川院栄信（1775～1828）筆 江戸時代後期（1816～28年）

作品概要と収集理由：

作者は将軍家関係の画事を担い、文化・文政年間を中心とした江戸時代後期に御用絵師集団狩野派の総帥として活躍した画家狩野伊川院栄信。本作は、江戸時代を通じて多くの画家によって、模本（コピー）ないし翻案的作例が制作され、富士山絵画の“古典”として位置づけられた伝雪舟筆・詹仲和賛「富士三保清見寺図」（永青文庫蔵）に倣ったもの。

狩野探幽による新しい富士山の定型も参照しつつ、原本の構図を簡略化するなど、より平明に再解釈したものであり、富士山絵画の型の展開を考えるうえで甚だ示唆に富む、貴重な資料であり、かつセンター美術史分野の収集方針「富士山の定型に関わる作品」「富士山絵画の黄金期である寛政～天保期の江戸画壇の作品」「富士山絵画のメインストリームである江戸狩野派の作品」に該当する。

・「富士三保清見寺図屏風」 筆者未詳　江戸時代前期（17世紀）

作品概要と収集理由：

右隻に富士山と三保松原、左隻に清見寺を描く作品。

本作品の構図は、中世後期から近世初期に描かれたやまと絵系富士山図屏風が、雪舟～狩野探幽の定型に従い整理されていく過程に位置する作品である。それと軌を一にするように、作風も同時代の第二定型「洛中洛外図屏風」などと通い合う。

富士山図の定型生成のダイナミズムを示す新出作品であり、今後の研究に資する面も大きい。本作は画中に徳川家康と思しき貴人を描く点でも興味深い。

センター美術史分野の収集方針「富士山の定型に関わる作品」に合致し、とりわけ定型生成のダイナミズムを示す重要な未発表作品であるとともに、六曲一双の金屏風であるため、展覧会等での展示効果も期待できる。

・「富岳真図」（原）大場維景（1750～1826）筆・小野正応写　江戸時代後期（1800年）

作品概要と収集理由：

寛政６年（1794）に富士山登頂を果たした水戸藩医大場維景により、場所・気象ごとに形状を変える富士山の姿が描かれた登山図「富岳真図」の写本である。

十一代将軍徳川家斉の上覧を得た原本はすでに現存せず、現在まで４本ほどの写本が現存するのみである。

松代藩主真田幸弘が家臣に写させた本作は、真田家に伝来した新出の一本であり、一連の写本のうち来歴が確かで制作年代も遡る最良の写本である。

将軍家斉との関係が深い本作は、同じく家斉上覧による谷文晁筆「富士山中真景全図」（センター蔵）を補完する重要な位置づけとなる。また、白糸の滝や三保松原など静岡県下の構成資産、さらに人穴や吉原などセンター周辺の景観も描く本作は、美術史のほか歴史学、民俗学等、様々な分野の研究に資する第一級資料であり、センターのコレクションとして必須の作品といえる。

・「富士三保松原図」　池田孤邨（1803～66）筆　江戸時代後期（19世紀）

作品概要と収集理由：

酒井抱一の高弟である池田孤邨による本作は、松樹の幹にたらし込みを応用しつつ、群青や緑青を駆使した華やかな作品で胡粉と群青で富士山を表す“江戸琳派”の常套的手法を踏襲したもの。

濃彩による華やかな画風の本作は、センターの重要な所蔵品である鈴木其一筆「富士越龍図」と相互補完の関係に位置すべき存在である。美術史分野の収集方針「富士山の定型に関わる作品」「富士山絵画の黄金期である寛政～天保期の江戸画壇の作品」にも合致する本作は、富士山の定型に関わるセンターの収蔵品を“線”として接続する重要な作品といえる。

・「冨士山禅定図・山頂図」　筆者未詳　明治時代初期（19世紀）

作品概要と収集理由：

本資料は、肉筆の「冨士山禅定図」と「山頂図」の二幅一括で伝来した登山案内図である。

同構図の刷物は数多く制作されているが、写本のものは珍しい。

本資料には、貼紙に「冨士登山支度所絵図面ノ通御案内申上候」と記されており、明治時代初期に富士宮市内で営業していた宿屋（屋号・糀屋）が、冨士登山のために宿泊した宿泊客に対して、本図二つを掲げて登山の行程および山頂の概要を説明していたという経緯がわかり、富士山巡礼路調査資料としての価値も高い。

（２）寄贈

・守屋多々志「旅」、現代

・日野資枝賛・土佐光貞画「四時富士図」、江戸時代後期

3　施設・組織・予算

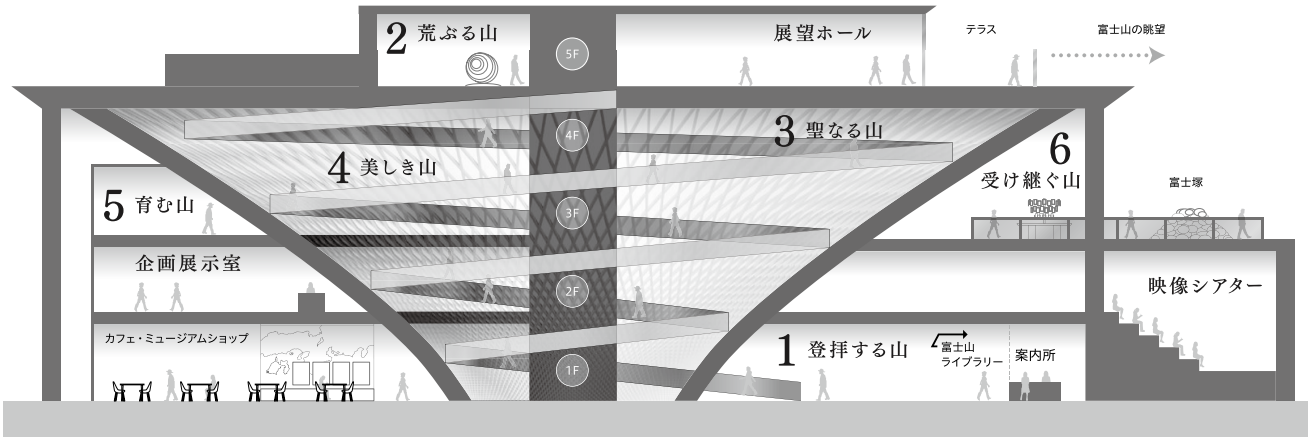
3-1 施設

1　建物概要

名　　称　静岡県富士山世界遺産センター
　　Mt.FUJI WORLD HERITAGE CENTRE, SHIZUOKA
敷地面積　6,086.7㎡
延床面積　3,410.98㎡
構　　造　鉄骨造（5階建て）
設　　計　株式会社坂茂建築設計
施　　工　建　築　佐藤工業・若杉組特定建設工事共同企業体
　　電　気　住友・三和特定建設工事共同企業体
　　機　械　須賀・遠藤特定建設工事共同企業体
　　防音壁　株式会社若杉組
　　収蔵庫　金剛株式会社
　　外　構　佐藤工業株式会社静岡営業所
　　さく井　土屋産業株式会社
　　サイン　株式会社若杉組
展示設計・施工　株式会社丹青社
西棟左官造作・富士塚制作　挾土　秀平（職人社　秀平組）
スロープ壁面描画　島倉　二千六（アトリエ雲）

富士ヒノキの木格子の外壁を持つ建物は「逆さ富士」を表現し、前面の水盤に映り込むと「富士山」の姿が現れる。水面に映る富士山は、内部に豊富な湧水をたたえた「水の山」としての富士山を象徴的に表している。
富士山の湧水を館内に取り込み、空調熱源として利用した後、水盤に利用し、富士の水の循環を建築的にも表現している。

2　フロアマップ



センターでは、スロープを上りながら富士登山を感じ、本物の富士山に出会い、世界遺産「富士山」について学ぶ、「富士山」を満喫する体験を提供している。

展示については、「富士山の総合的、学際的、国際的な研究活動を展開していく中で、各コーナーが有機的につながりあう展示」「世界からの来館者を感化する展示」をテーマとしている。

3　施設概要

所 在 地　静岡県富士宮市宮町5-12
Ｔ Ｅ Ｌ　0544-21-3776
Ｆ Ａ Ｘ　0544-23-6800
営業時間　９：00～17：00
（７、８月は～18：00、
最終入館は閉館の30分前）
休 館 日　毎月第３火曜日、施設点検日
観 覧 料　300円（団体割引あり）
70歳以上、大学生以下、障害者等は無料（要証明）
企画展は別途料金を設定
アクセス　JR身延線富士宮駅から徒歩８分
新東名高速道路新富士ICから約10分
東名高速道路富士ICから約15分

4　改修工事概要

開館以降、多くの国内外の賓客がセンターを訪れているが、応接できるスペースが無かった。東京オリンピック・パラリンピックを控え、一層の賓客の増加が見込まれたため、これらの方々をお迎えする応接スペースを整備した。

・工事期間　2020年２月19日～2020年７月８日

・工事前後写真

5階　貴賓室　　施工前

施工後

2階　館長室　　施工前

施工後

※間仕切り壁の除去

3-2 組織

1　組織図・職員（2020年度）

〈組織図〉

館　長 ―― 副館長 ―― 企画総務課長 ―― 課員９人
　　└―― 学芸課長 ―― 課員５人

〈企画総務課〉

課　長	１人
班　長	１人
主　幹	１人
主　査	１人
主　任	１人
主　事	４人

〈学芸課〉

教　授	３人
准教授	１人
研究員	１人

職員数　計　　15人

（その他会計年度任用職員）

職　　名	人数
会計年度任用職員	３人

〈職員〉

館長	遠山　敦子	
副館長	髙部　真吾	
企画総務課長	小野　　一	
企画総務班長	服部　広輝	
企画総務課主任	宇佐美綾乃	
企画総務課主事	加藤　慎也	※函南町へ派遣
企画総務課主事	久保田有輝	
企画総務課主事	荒木　玲美	
企画総務課主事	小野寺　輝	
企画総務課主幹	山﨑　喜之	
企画総務課主査	白鳥　　稔	
学芸課長兼教授	松島　　仁	
学芸課教授	小林　　淳	
学芸課教授	大高　康正	
学芸課准教授	田代　一葉	
学芸課研究員	山川　志典	
会計年度任用職員	遠藤　香澄	
	渡邉　敦美	
	渡井　和美	

3-3 予算

富士山世界遺産センター管理運営事業費（2020年度）

歳出の部　（単位：千円）

項　目		予算額（9月補正後）	決算額	内　容
究める	調査研究	13,690	5,862	巡礼路調査、分野別研究
	資料収集	15,742	13,103	収蔵品購入
伝える・交わる	教育普及	2,681	1,380	世界遺産セミナー、館内講座、出前講座の実施
	展　示	66,246	45,321	常設展示の更新、企画展の開催
	情報発信	4,700	2,046	ホームページ、ニュースレター等様々な情報発信
守る	人材養成	520	1	世界遺産ガイドのスキルアップ講座
維持管理		121,857	121,857	光熱水費、接遇スタッフ、設備運転、清掃、定期点検　ほか
増　築		15,000	14,989	センターの機能強化のための増築工事
事務費		21,922	20,235	非常勤職員人件費、消耗品費、印刷費、職員旅費　ほか
歳出計		262,358	224,794	

歳入の部　（単位：千円）

項　目	予算額（当初）	決算額	内　容
観覧料収入	43,162	12,240	常設展観覧料、特別展観覧料
その他収入	6,187	16,895	庁舎貸付料、物品貸付料等
歳入計	49,349	29,135	

4　資　料

4-1 入館者数データ

2020年度月間入場者数推移

（単位：人）

年	月	全体	観覧券発券数						
			一般	団体	小人	学生	高齢者	その他	計
2020	4月計	1,951	534	39	63	43	113	37	829
2020	5月計	0	0	0	0	0	0	0	0
2020	6月計	3,511	2,549	0	203	147	410	130	3,439
2020	7月計	5,887	4,048	31	507	188	682	247	5,703
2020	8月計	10,095	6,662	0	1,302	540	654	802	9,960
2020	9月計	8,313	5,227	20	1,301	378	804	356	8,086
2020	10月計	10,398	4,659	80	2,988	820	1,035	611	10,193
2020	11月計	11,233	5,623	145	2,572	331	1,505	612	10,788
2020	12月計	4,828	2,278	23	1,176	319	565	296	4,657
2021	1月計	5,094	3,124	0	637	252	448	256	4,717
2021	2月計	6,175	2,868	0	889	282	420	1,485	5,944
2021	3月計	6,854	3,764	0	963	790	815	207	6,539
2020年度累計		74,339	41,336	338	12,601	4,090	7,451	5,039	70,855

4-2 2020年度の休館日

毎月第三火曜日、施設点検日、年末年始がセンターの休館日となっている。

2020年度における休館日は以下のとおりである。

〈毎月第三火曜日〉 4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月15日、10月20日、11月17日、12月15日、1月19日、2月16日、3月16日

〈施設点検日〉12月14日、16～18日

〈年末年始〉12月27日～12月31日

〈その他〉 4月14日～5月31日（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館）

4-3 新型コロナウイルス感染症対策

1 概　要

静岡県富士山世界遺産センターは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年４月14日から５月31日までの48日間臨時休館を実施した。６月１日以降は、各種感染症対策を実施した上で開館を再開した。

実施した主な感染症対策は以下のとおり。

○入館時の検温

○館内各所への消毒液の設置

○入館制限

○シアター座席制限

4-4 公式オリジナルグッズ

1 概　要

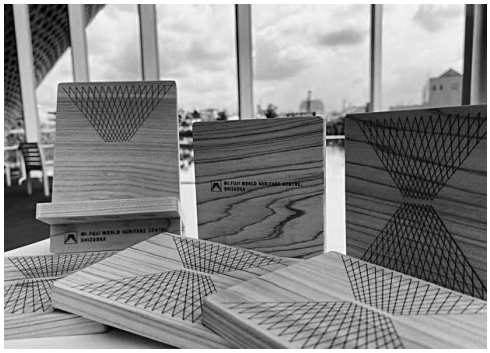
静岡県富士山世界遺産センターでは、観覧の記念やお土産として持ち帰って楽しんでいただけるよう、当センターオリジナルのグッズ制作・販売を行っている。令和２年度は、計７点のオリジナルグッズを制作し、これまで合計13点のオリジナルグッズを当センターミュージアムショップにて販売した。

2 オリジナルグッズ一覧（令和３年３月31日現在）

No	商　品　名	内　　容	販売開始時期
1	富士山世界遺産センター クリアファイル	当センターの特徴的な建築物と富士山をプリントしたクリアファイル	平成29年12月
2	富士山世界遺産センター ポストカード（４種）	当センターの特徴的な建築物や富士山をプリントしたポストカード	平成29年12月
3	正統展図録	平成30年度秋季特別展図録	平成30年９月※
4	富士山巡礼路須走口報告書	富士山須走口登山道の調査成果をまとめた報告書	平成30年※
5	富士すがた	当センター建築物の形を模したオリジナル最中	平成30年

No	商　品　名	内　　容	販売開始時期
6	谷文晁展図録	令和元年度冬季特別展図録	令和元年12月※
7	公式ハンドブック	当センター常設展の図録	令和２年６月
8	富士ひのき コースター	当センター建築物に使用されている富士ひのきを活用したコースター	令和２年８月
9	富士ひのき スマホスタンド	当センター建築物に使用されている富士ひのきを活用したスマホスタンド兼ペン立て	令和２年８月
10	富士ひのき フォトフレーム	当センター建築物に使用されている富士ひのきを活用したフォトフレーム	令和２年９月
11	ハイブリッド狩野派展図録	令和２年度秋季特別展図録	令和２年10月
12	ポップアップメモ	当センターの特徴的な建築物と富士山をプリントしたメモ帳	令和２年12月
13	マグネットクリップ	当センターオリジナルふじっぴーをプリントしたマグネットクリップ	令和２年12月

※３、４、６の商品は、令和２年６月に受付での販売からミュージアムショップでの販売へ変更した。



4-5 報道実績

1 概　要

静岡県富士山世界遺産センターは、2020年12月で開館から３年を迎えたが、新聞報道や旅行番組・情報番組によるテレビ報道、旅行雑誌や各種情報誌など多方面で紹介されてきた。

特に、２月23日の「富士山の日」や累計来館者数100万人を達成した２月28日にあわせて、富士山の拠点施設として広く報道された。

報道実績一覧表【センター独自集計による】

	新聞	テレビ (県内ニュース)	テレビ (その他)	雑誌	合計
2020年４月	4	0	0	0	4
2020年５月	4	0	0	0	4

	新聞	テレビ（県内ニュース）	テレビ（その他）	雑誌	合計
2020年６月	2	10	0	2	14
2020年７月	4	4	4	0	12
2020年８月	5	0	1	0	6
2020年９月	1	0	1	2	4
2020年10月	1	0	1	1	3
2020年11月	0	0	0	0	0
2020年12月	3	1	1	1	6
2021年１月	0	0	1	2	3
2021年２月	6	3	0	0	9
2021年３月	5	0	0	5	10
合計	35	18	9	13	75

※テレビ（その他）は、県内ニュースを除く県内情報番組及び全国番組での放映回数

富士山の湧水に学び深め

富士山世界遺産センターで企画展

豊かな水の恵みを与えてくれる富士山の湧水を科学的見地で見る企画展「富士山の湧水―その道のりと歴史」が10月4日まで、県富士山世界遺産センター2階企画展示室で開かれている。地元、富士宮市の湧水や白糸ノ滝に関する研究の成果も、プロジェクションマッピングなどを用いて分かりやすく解説しており、同センターでは「富士山学習などをしている地元の小・中学生にも見てほしい」と話している。

富士山の湧水に関する研究は20世紀半ばから取り組まれ、水源確保に関する地下水調査、地中熱のエネルギー利用を目的としたプロジェクトが組まれるなど、現在もさまざまな研究が進められている。

同企画展は国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター（茨城県つくば市）、県環境衛生科学研究所（藤枝市）と共同で開いたもの。同研究所地質調査総合センターが中心に進めてきた、富士山周辺の地下水情報に係る既往資料と最新の研究成果をまとめた『水文環境図』と『水文環境データベース』を中心に紹介している。

展示エリアは4つに分かれており、富士山麓に湧き出る水と富士山の地形、溶岩流などの分布について模型図などを用いて紹介した「富士山の湧水、地形・地質との関係」をはじめ、「富士山の火山研究」「富士山の地下水・湧水研究」「富士山の湧水の気になること」「富士山の湧水がもたらす自然環境とその活用技術」に分かれている。

展示内容は、湧水に関する研究史や最新成果、銀明水や駿河湾に出ている富士山の湧水について、湧水を用いた熱交換システムや水調査した結果、遠隔操作無人探査機（ROV）が作りだした自然環境など。その中には、富士宮市にも見られる湧水地点や地下水調査の結果を衛星写真、地質、水質・水温、地下水面のデータを地形模型上に投影して紹介するもの、「白糸ノ滝から流れる水は隣接して流れる芝川から来たものではないか」と仮設してある海底湧水の映像などもあり、児童・生徒でも湧水に関する理解を深められるようになっている。

関連して、21日と9月13日にサイエンスレクチャーを実施。21日は午後1時30分から「富士山研究の最前線」と題し、富士山噴火や湧水などについて研究者3人が語る。9月13日は午後2時から「火山湧水に潤う地域」と題し、同センターの小林淳教授らが語る。受講無料（入場料が必要）。受け付けは講座開始30分前からで、定員は先着30人。

また、夏休みファミリーイベント（16日まで）、ふじのくに地球環境史ミュージアムウイーク（30日まで）なども開かれている。

入場料は一般300円、学生、70歳以上は無料。開館時間は午前9時から午後6時まで（8月）。18日、9月15日は休館。問い合わせは同センター（電054―21―3776）へ。

研究成果などを展示している会場

模型に水質データを投影する展示も

2020年８月16日　岳南朝日

県富士山世界遺産センター　観覧料の支払い

20日からキャッシュレス決済導入

″ウィズ・コロナ″で安全な鑑賞を

県富士山世界遺産センターは、″ウィズ・コロナ″時代における安心・安全で利便性の高い鑑賞環境整備の一環として、20日から観覧料の支払いにキャッシュレス決済を導入する。

入館料は一般300円、団体（20人以上）200円で15歳以下、70歳以上は無料だった。

こともあり、キャッシュレス決済を導入していなかった。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により非接触が推奨される中、支払いも来場者がスタッフなどと接触することなくできるキャッシュレス決済を導入することにした。

観覧料はクレジットカード7種（Visa、Mastercard、JCB、American Express、Apple Pay、iD、QUICPay）、QRコード8種（paypay、LINEPay、auPayなど）。

カード7種（Visa、Mastercard、JCB、American Express、Apple Pay、iD、QUICPay）、QRコード8種（paypay、LINEPay、auPayなど）。

同センター1階カフェ―3776）へ。

ミュージアムショップではすでにキャッシュレス決済を導入しているが、利用できるのはVisa、Mastercard、JCB、American Express、Apple Pay、iD、QUICPay、QRコードのイベントを実施する予定。

なお、23日の「富士山の日」は無料開放し、館内クイズラリーなどのイベントを実施する。

問い合わせは同センター（電0544―21

2021年2月16日　岳南朝日

富士山世界遺産センター100万人

静岡の坂本さん記念品

富士宮市の県富士山世界遺産センターは28日、延べ来館者数100万人を達成した。館内でセレモニーを行い、来館者とともに大台突破を祝った。

100万人目の来館者は家族5人で訪れた坂本文美さん(39)＝静岡市清水区＝。同センターを訪れたのは初めてといい、「本当に驚き。来てよかった」と喜びを口にした。遠山敦子館長や須藤秀忠市長と一緒にくす玉を割り、花束や記念品を受け取った。

2020年12月23日に開館から3年を迎えた同センター。遠山館長は「これまでに来られたすべての方に感謝。これからも工夫しながらいつ来ても面白い、いつ来ても学べるセンターにしていきたい」と先を見据えた。

同センターは9日まで各日先着100人にオリジナルポストカードを配布する。さらに、研究員の講演会を7日に開催するなど100万人達成記念イベントを実施していく。

（富士宮支局・吉田史弥）

遠山館長（左から2人目）らとくす玉を割る来館者＝富士宮市の県富士山世界遺産センター

2021年3月1日　静岡新聞

4-6 来館者アンケート結果

1 概　要

来館者の動向、評価等をモニタリングするためアンケートを実施した。

2　実施結果

（1）第一回

・日本語によるアンケート

○来館日　2018年1月29日～2月12日
　　15日間（平日10日間・土日休日5日間）

○総人数　420人　（男191人・女229人）

・英語によるアンケート

○　来館日　2018年5月8日～5月31日
　　24日間（平日18日間・土日休日6日間）

（2）第二回（日本語・英語によるアンケートを実施）

○来館日　2018年9月20日～11月13日
　　54日間（平日36日間・土日休日18日間）

○総人数　436人　（男202人・女234人）

（３）第三回（日本語・英語によるアンケートを実施）

○来館日　2019年10月１日～11月30日
　　59日間（平日49日間・土日休日19日間）

○総人数　167人　（男　86人・女　81人）

（４）第四回（日本語によるアンケートを実施）

○来館日　2020年10月１日～11月30日
　　59日間（平日40日間・土日休日19日間）

○総人数　103人　（男　57人・女　46人）

（５）各回比較結果

○年齢構成

修学旅行等教育旅行での来館が増加した影響があり20歳未満の比率が増加している。

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
第一回	15%	５％	４％	９％	19%	24%	24%
第二回	17%	７％	５％	10%	５％	29%	28%
第三回	20%	４％	５％	８％	14%	24%	25%
第四回	31%	６％	３％	８％	14%	21%	17%

○居住地の区分

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う渡航制限により、国外からの来館が無くなったが、アンケート実施時期に行われた国のGo Toトラベル事業の影響もあり、県外からの来館の比率が増加している。

	国外	県外	県西部	県中部	県東部	内地元二市
第一回	―	17%	８％	28%	47%	(26%)
第二回	８％	31%	13%	20%	28%	(17%)
第三回	13%	45%	３％	15%	24%	(14%)
第四回	―	55%	11％	18%	16%	(８％)

・県外の内訳

関東、東海地区で全体の80％を超えており、その内、愛知県、神奈川県、東京都が90％を占めていることから近隣の都県からの来館の比率が増加している。

	北海道・東北	関東	東海	北陸甲信	関西	中国・四国	九州
第一回	4％	48%	27%	4％	7％	6％	4％
第二回	1％	53%	16%	11%	13%	7％	0％
第三回	1％	44%	20%	15%	11%	4％	5％
第四回	―	51%	30%	4％	14%	―	1％

県別上位　愛知県30％　東京都28％　神奈川県14％

○センターまでの交通手段（複数回答可）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、航空機、新幹線を利用した国外及び県外遠隔地からの来館が減少した。団体の減少に伴い観光バスでの来館比率が減少し、県内及び近隣都県からの来館、家族等での来館の増加により自家用車の利用比率が増加している。

	新幹線	在来線	路線バス	観光バス	車	徒歩	航空機
第一回	4％	10%	0％	5％	78%	6％	1％
第二回	6％	11%	4％	29%	52%	6％	4％
第三回	11%	19%	4％	26%	42%	6％	13%
第四回	7％	15%	3％	14%	54%	6％	2％

※重複回答があり、100％を超える場合がある。

○来館回数

昨年度と大きな変化は無い。

	初めて	2回目	3回以上
第二回	89%	8％	3％
第三回	84%	10%	6％
第四回	86%	7％	6％

○センターの認知（複数回答可）

新聞・テレビ等既存メディアの露出が減少していることもあり、インターネットでの認知比率が増加している。

	新聞	雑誌	ネット	テレビ	ラジオ	知人	その他
第一回	41%	7％	13%	45%	4％	20%	13%
第二回	25%	9％	14%	36%	3％	25%	15%
第三回	15%	16%	17%	30%	3％	25%	14%
第四回	12%	7％	25%	22%	2％	17%	15%

○来館構成

家族又は一人での来館比率が増加している。団体はほとんどが修学旅行等教育旅行。

	一人	家族	友人グループ	団体
第一回	12%	63%	19%	6％
第二回	12%	46%	15%	27%
第三回	11%	46%	22%	21%
第四回	17%	53%	12%	17%

○今回は県内に御宿泊の予定はありますか。

アンケート実施時期に行われた国のGo Toトラベル事業の影響もあり宿泊者比率は増加している。

	有	無
第一回	11%	89%
第二回	24%	76%
第三回	31%	69%
第四回	47%	53%

○他の立ち寄り場所

センターから徒歩圏内の浅間大社の比率は多いものの、その他の比率が倍増しており、宿泊比率が高いことから、富士・富士宮地区外の立ち寄り先が多いと考えられる。

	浅間大社	白糸の滝	朝霧高原	その他
第三回	51%	25%	15%	9％
第四回	42%	29%	9％	20%

4-7 施設管理条例・規則

○静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例

平成29年10月24日
条例第35号

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例をここに公布する。

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例

（趣旨）

第１条　この条例は、静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第２条　世界遺産富士山（静岡県世界遺産富士山基本条例（平成27年静岡県条例第31号）第２条第１号に規定する世界遺産富士山をいう。以下同じ。）の有する顕著な普遍的価値（同条第３号に規定する顕著な普遍的価値をいう。）についての県民の理解を深めることにより、当該顕著な普遍的価値を後世に引き継ぐこと及び県民文化の向上に寄与することを目的として、静岡県富士山世界遺産センター（以下「センター」という。）を富士宮市に設置する。

（開館時間）

第３条　センターの開館時間は、午前９時から午後５時まで（７月及び８月にあっては、午前９時から午後６時まで）とする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（休館日）

第４条　センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に開館し、又は休館することができる。

⑴　毎月の第３火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日曜日、土曜日又は同法に規定する休日でない日）

⑵　12月27日から翌年の１月３日までの日

（観覧料）

第５条　センターに展示されている世界遺産富士山に関する資料等を観覧しようとする者は、別表第１に定める額の観覧料を納めなければならない。

（特別観覧）

第６条　知事は、センターに収蔵されている世界遺産富士山に関する資料等について学術研究等のために必要があると認めるときは、当該資料等の模写、模造、撮影等（以下「特別観覧」という。）をしようとする者に対して、当該特別観覧を承認することができる。

２　前項の規定による承認には、センターの管理のために必要な限度において条件を付することができる。

（特別観覧料）

第７条　特別観覧をしようとする者は、別表第２に定める額の特別観覧料を前納しなければならない。

（観覧料等の減免）

第８条　知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は特別観覧料（以下「観覧料等」という。）を減免することができる。

（観覧料等の不還付）

第９条　既納の観覧料等は還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（委任）

第10条　この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附　則

この条例は、平成29年12月23日から施行する。

別表第１（第５条関係）

⑴　常設展示

利用区分	観覧料
個人	300円
団体	１人につき　200円

備考

１　個人とは、満15歳以上の者であって、中学校、高等学校及び大学の在学者並びにこれらに準ずる者以外のものをいう。

２　団体とは、20人以上をいう。

３　企画展示と常設展示を併せて観覧する場合の常設展示の観覧料は、減免することができる。

⑵　企画展示

1,500円を限度として知事がその都度定める額

別表第２（第７条関係）

利用区分	特別観覧料
模写	１点１日につき　2,000円
模造	１点１日につき　2,000円
撮影	１点１回につき　4,000円
熟覧	１点１日につき　1,000円
原板使用	１点１回につき　3,000円

○静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則

平成29年10月24日

規則第41号

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則をここに公布する。

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則

（趣旨）

第１条　この規則は、静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例（平成29年静岡県条例第35号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（入館時間）

第２条　静岡県富士山世界遺産センター（以下「センター」という。）の入館時間は、午前９時から午後４時30分まで（７月及び８月にあっては午前９時から午後５時30分まで）とする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（観覧手続）

第３条　常設展示又は企画展示（以下「常設展示等」という。）を観覧しようとする者は、条例第５条の観覧料（以下「観覧料」という。）を納付し、観覧券の交付を受けなければならない。ただし、知事が認めた団体については、観覧後に観覧料を納めることができる。

（特別観覧手続）

第４条　条例第６条第１項に規定する特別観覧（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、あらかじめ、様式第１号による特別観覧承認申請書を知事に提出しなければならない。

２　知事は、特別観覧を承認したときは、特別観覧承認書を当該申請をした者に交付するものとする。

（観覧料等の減免）

第５条　条例第８条の規定による観覧料等（同条に規定する観覧料等をいう。以下同じ。）の減免（以下「観覧料等の減免」という。）は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとし、その減免

する額は、当該各号に定める額とする。

⑴　身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下「障害者」という。）が常設展示等を観覧するとき　観覧料の全額

⑵　障害者が常設展示等を観覧するときに現に付き添って介護を行っている者（障害者１人につき１人に限る。）が常設展示等を観覧するとき　観覧料の全額

⑶　70歳以上の者が常設展示を観覧するとき　観覧料の全額

⑷　70歳以上の者が企画展示を観覧するとき　観覧料の２分の１の額（当該額に100円未満の端数があるときは、これを100円に切り上げた額）

⑸　幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は大学の教育課程に基づく教育活動（これらに準ずるものを含む。）として幼児、児童、生徒、学生等が企画展示を観覧するとき　観覧料の全額

⑹　幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は大学の教育課程に基づく教育活動（これらに準ずるものを含む。）として常設展示等を観覧する幼児、児童、生徒、学生等を引率する者が常設展示等を観覧するとき　観覧料の全額

⑺　その他知事が特別の理由があると認めるとき　知事が別に定める額

２　観覧料等の減免を受けようとする者は、あらかじめ、様式第２号による観覧料等減免承認申請書を知事に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、前項第１号から第４号までのいずれかに該当するとき、又は前項第７号に該当する場合であって知事がその必要がないと認めるときは、この限りでない。

３　知事は、観覧料等の減免を承認したときは、観覧料等減免承認書を当該申請をした者に交付するものとする。

（観覧料等の還付）

第６条　条例第９条ただし書の規定による観覧料等の還付は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとする。

⑴　観覧又は特別観覧をしようとする者の責めに帰することができない理由により観覧又は特別観覧ができなくなったとき。

⑵　その他知事が必要と認めるとき。

２　観覧料の還付を受けようとする者は、観覧券を知事に提出しなければならない。

３　条例第７条の特別観覧料（以下「特別観覧料」という。）の還付を受けようとする者は、様式第３号による特別観覧料還付申請書を知事に提出しなければならない。ただし、第１項第１号に掲げる場合は、この限りでない。

（委任）

第７条　この規則に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、センターの長が別に定める。

附　則

この規則は、平成29年12月23日から施行する。

この規則は、令和３年４月１日から施行する。

静岡県富士山世界遺産センター　年報2020.4ー2021.3

2021年12月発行
編集・発行　静岡県富士山世界遺産センター
〒418-0067　静岡県富士宮市宮町5-12
ＴＥＬ 0544-21-3776
ＦＡＸ 0544-23-6800
印　　刷　文光堂印刷株式会社

静岡県富士山世界遺産センター